

射水市教育委員会 9月定例会次第

日 時 平成29年9月29日(金)

午前10時

場 所 庁舎401会議室

1 会議録の承認

2 事務局報告

- (1) 平成29年9月市議会開催状況について 資料1

3 各課等の連絡事項及び報告事項

- (1) 平成29年度 全国学力・学習状況調査における射水市の結果について
(教育センター) 資料2
- (2) 平成29年度いみず鳳雛きらめき塾の実施について (学校教育課) 資料3
- (3) 平成29年度カニ学校給食の実施について (学校教育課) 資料4
- (4) 平成29年度夏季休業中における教職員研修実施報告(教育センター) 資料5
- (5) 新湊博物館空調設備関係工事に伴う臨時休館について (博物館) 資料6
- (6) 教育委員会行事予定 資料7

4 その他

※ 次回教育委員会の開催日時について

月 日 () 時 分

平成29年9月市議会開催状況について（教育委員会関係）

1 教育委員会関係議案

議案第41号 平成29年度射水市一般会計補正予算（第2号）

（放課後児童クラブ運営委託料、寄附金による図書購入費、緊急地震速報受信システム整備費、射北中学校グラウンド鉋さい等掘削残土処分費、小杉総合体育センター防水修繕費）

2 代表質問、一般質問（教育委員会関係）

(1) 代表質問 9月6日（水）

- 吉野省三 議員（自民議員会）
 - 1 小学校のエアコン整備について

(2) 一般質問 9月7日（木）（※発言順）

- 澤村 理 議員
 - 1 学校グラウンドの砂塵対策について
 - (1) 砂塵の把握について
 - (2) 対応策の統一化について
- 津本二三男 議員
 - 1 小学校の普通教室にもエアコン整備について
 - (1) グリーンカーテンの効果について
 - (2) エアコンの整備について
- 奈田安弘 議員（自民議員会）
 - 1 県立高校の後期再編について
 - (1) 高校再編について
- 小島啓子 議員
 - 1 全小学校の普通教室へのエアコン設置について
 - (1) エアコン設置について
 - (2) 整備方法について

3 予算特別委員会 9月15日（金）、21日（木）

議案第41号 平成29年度射水市一般会計補正予算（第2号）

9月15日（金）

- 瀧田孝吉 委員
 - 1 指定管理者が管理する体育館の修繕について
 - (1) 今回補正計上されている修繕の内容について
 - (2) 他のスポーツ施設の状況及び指定管理者が管理する体育館の修繕について

9月21日(木)(※発言順)

○ 中村文隆 委員

1 片山学園について

- (1) いじめ問題と入学の地元枠について
- (2) いじめ問題に関する情報交換について

2 小学校普通教室のエアコン整備について

- (1) ランニングコストについて
- (2) 国庫補助金の活用について
- (3) 国等への要望について

○ 伊勢 司 委員

1 子どもの安全・安心対策について

- (1) 子ども110番の家について

○ 石黒 善隆 委員

1 市内公共施設のトイレ整備について

- (1) 主要6体育館のトイレ設置状況について

○ 津本 二三男 委員

1 高校再編について

- (1) 中学校卒業生数と県立高等学校の学級数について
- (2) 学級数の増減と県教育委員会の説明責任について

○ 高橋 久和 委員

1 豪雨対策について

- (1) 南郷パークゴルフ場内の調整池の管理について

4 総務文教常任委員会 9月19日(火)

報告事項

- (1) 教育に関する事務の点検・評価報告書(平成28年度分)について
- (2) 平成29年度全国学力・学習状況調査について
- (3) 大門総合体育館における屋内相撲練習場の整備について

その他

- 1 小学校の空調設備について

「平成29年度全国学力・学習状況調査」

における射水市の結果について

平成29年9月29日(金)

射水市教育委員会

平成29年度全国学力・学習状況調査について

I 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 市教育委員会が、全国的な学力や学習状況との関係において、本市小中学校の結果を把握し、改善を図るための教育施策に活用する。
- 小中学校においては、各校の児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善等に活用する。

II 実施概況（射水市小中学校）

- 実施期日 平成29年4月18日（火）
- 調査内容
 - ・ 学力調査（教科に関する調査）
 - （小学校）国語、算数
 - （中学校）国語、数学
 - ・ 学習調査（質問紙調査）
 - 児童生徒、学校

○ 実施学校数、実施児童生徒数

射水市 小中学校	小学校6年		中学校3年	
	実施学校数	実施児童数	実施学校数	実施生徒数
	15校	858名	6校	886名

※ 用語説明

平均正答率	<p>平均正答数を百分率で表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学Bごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数） <ul style="list-style-type: none"> ※ A：主として「知識」に関する問題 B：主として「活用」に関する問題 ○ 学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率
-------	---

Ⅲ 調査の結果

射水市教育委員会においては、「射水市学力向上委員会」を設置し、結果を詳細に分析・考察して、授業方法の改善や学習習慣の定着、学力向上対策に反映させている。

平成28年度の成果を基に、継続的な取組を推進しており、今年度、一定の成果がみられた。

今後は、「確かな学力の定着」に向けて、射水トライアル3点セット（射水スタンダード～授業のABC～、授業研究協議ステージアップ、授業力向上のちよいテク）を活用した教師の授業力向上や放課後における補充学習の充実を支援していくこととする。

1 学力調査の結果（教科区分別平均正答率）

○本市は、小学校・中学校とも、全ての教科区分において、全国平均と同じかまたは全国平均を上回った。

○小学校は、国語の活用に関する問題（B問題）は県平均を上回ったが、国語の知識に関する問題（A問題）の定着に課題が残った。

○中学校は、数学の知識に関する問題（A問題）を除く教科区分において、県平均を下回った。

（単位：％）

区 分	小 学 校 6 年				中 学 校 3 年			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
射水市	77%	61%	82%	47%	78%	72%	68%	48%
県との差	-1	1	0	0	-2	-3	0	-2
国との差	2	3	3	1	1	0	3	0
富山県	78%	60%	82%	47%	80%	75%	68%	50%
全 国	75%	58%	79%	46%	77%	72%	65%	48%

※ 平成28年度より、文部科学省は平均正答率について、小数点以下第1位を公表することが、数値データによる単純な比較が行われ、序列化や過度な競争を助長する一つの要因として考えられることから、整数値で公表した。

【参考】

（単位：％）

区 分	平成26年度小学校6年 (平成29年度中学3年生)				平成28年度小学校6年				平成28年度中学校3年			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
射水市	71.7	56.6	77.3	57.1	76%	59%	81%	51%	79%	70%	67%	50%
県との差	-2.4	-2.9	-3.7	-4.9	1	-2	0	0	-2	-1	2	1
国との差	-1.2	1.1	-0.8	-1.1	3	1	3	4	3	3	5	6
富山県	74.1	59.6	81.0	62.0	75%	61%	81%	51%	78%	71%	65%	49%
全 国	72.9	55.5	78.1	58.2	73%	58%	78%	47%	76%	67%	62%	44%

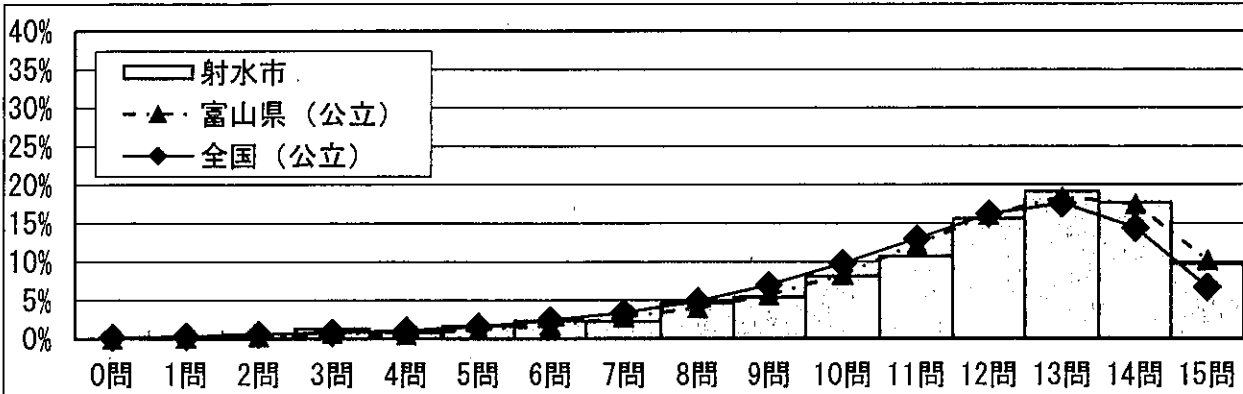
2 教科に関する結果の概要及び考察

集計結果 表【平均正答率：◎県以上 ○全国以上】

正答数分布 グラフ【横軸：正答数，縦軸：割合】

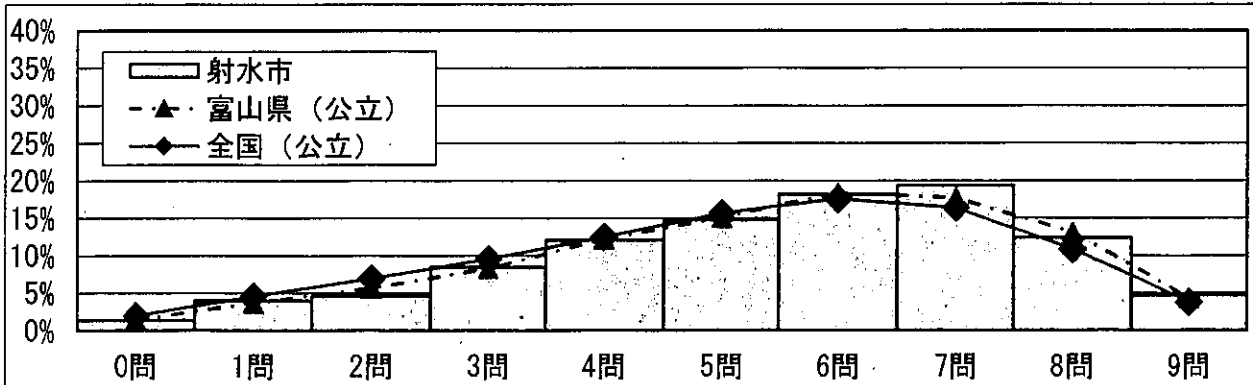
小学校国語A

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	15	○ 77.0	78.0	74.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	○ 70.7	71.5	69.2
	書くこと	2	◎ 65.4	65.0	60.6
	読むこと	3	70.0	72.8	70.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	○ 80.3	81.2	78.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	1	○ 70.7	71.5	69.2
	書く能力	2	◎ 65.4	65.0	60.6
	読む能力	3	70.0	72.8	70.2
	言語についての知識・理解・技能	11	○ 80.3	81.2	78.0
問題形式	選択式	9	○ 73.0	74.2	71.7
	短答式	6	○ 83.9	84.3	79.4
	記述式	0			



小学校国語B

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	9	◎ 61.0	60.0	57.5
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	◎ 68.7	67.4	64.9
	書くこと	5	◎ 57.4	56.7	53.4
	読むこと	3	◎ 52.9	52.5	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	◎ 47.5	45.7	41.7
	話す・聞く能力	3	◎ 68.7	67.4	64.9
	書く能力	5	◎ 57.4	56.7	53.4
	読む能力	3	◎ 52.9	52.5	49.2
	言語についての知識・理解・技能	0			
問題形式	選択式	5	○ 66.3	67.1	64.6
	短答式	1	◎ 73.1	69.9	69.2
	記述式	3	◎ 47.5	45.7	41.7



結果の数値表記について

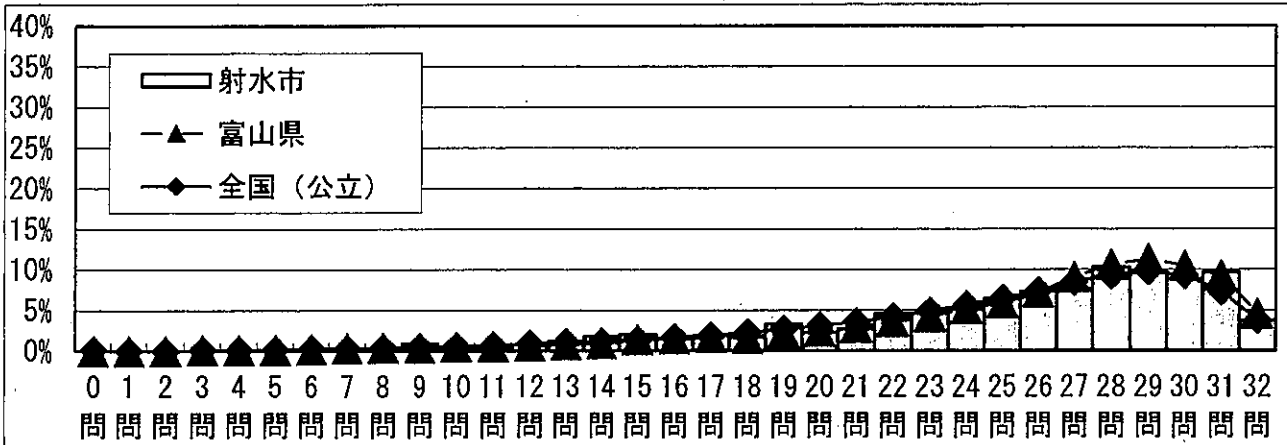
- ・全体平均正答率の全国・県平均との比較は、正数表記
- ・領域、観点、問題形式の平均正答率の全国・県平均との比較は、少数表記

小学校国語

<p>結果の概要</p>	<p>○国語Bでは、全体の平均正答率において、全国平均を3ポイント、県平均を1ポイント上回っている。昨年度、国語Bは、平均正答率において、県平均を2ポイント下回り、また、領域、観点、問題形式においても、ほとんどが下回っていたが、今年度は、ほぼ全てが上回っており、「活用」に関する指導に成果が見られた。国語A、Bにおいて、ほとんどの設問の無解答率が全国平均、県平均を下回っており、依然、問題に対して前向きに取り組んでいる姿がうかがえる。</p> <p>●国語Aでは、全体の平均正答率は、全国平均を2ポイント上回ったが、県平均においては、1ポイント下回っている。「書くこと」に関しては上回ったが、他の観点「話す・聞く」「読む」「言語についての知識・理解・技能」においては、下回っている。</p>
<p>A 主として「知識」</p>	<p>○「お礼の手紙を書く」問題（設問2）において、県平均を0.4ポイント、全国平均を4.8ポイント上回っている。実際に礼状を書く体験が効果を上げていると考えられる。</p> <p>●「好きな俳句を紹介する」（設問4）では、全国平均を1.1ポイント、県平均を2.9ポイント下回っている。「ことわざカードを作る」（設問5）では、全国平均は0.3ポイント上回ったものの、県平均は0.8ポイント下回っている。古典・古文の単元の内容を丁寧に押さえるなど「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」についての学習を大切にしなければならない。</p>
<p>B 主として「活用」</p>	<p>○記述式・短答式の問題全4問の平均解答率において、全国平均を3.9～7.1ポイント、県平均を0.7～3.2ポイント上回っている。「書くこと」の領域において、たいへん優れた結果が見られた。</p> <p>●選択式の問題全5問において、県平均を上回った問題は、4択から1つの単語を選ぶ問題（設問3-1）だけで、他の問が県平均を0.6～2.1ポイント下回った。いずれも文章の内容や要旨及び構成を理解した上で選択する設問である。一つ一つの言葉を大切にしながら文章を比べて効果的に読む力及び文や段落の組み立てや相互の関係について理解する力を身に付ける必要がある。</p>

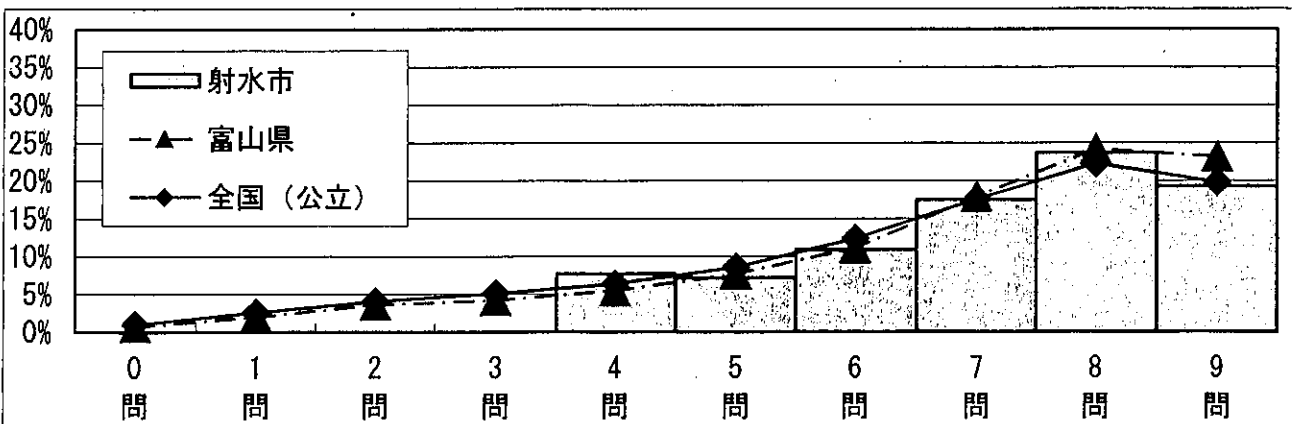
中学校国語A

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		32	○ 78.0	80.0	77.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	74.8	77.7	75.4
	書くこと	4	○ 86.7	88.4	85.7
	読むこと	6	73.5	76.1	73.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	○ 78.6	80.0	77.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	74.8	77.7	75.4
	書く能力	4	○ 86.7	88.4	85.7
	読む能力	6	73.5	76.1	73.8
	言語についての知識・理解・技能	18	○ 78.6	80.0	77.2
問題形式	選択式	22	78.0	80.2	78.5
	短答式	10	○ 78.7	79.6	75.1
	記述式	0			



中学校国語B

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		9	72.0	75.0	72.2
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	70.6	74.7	72.4
	書くこと	4	○ 60.8	64.3	60.8
	読むこと	4	72.0	75.0	72.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	40.1	44.7	41.4
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	55.3	59.5	55.9
	話す・聞く能力	3	70.6	74.7	72.4
	書く能力	4	○ 60.8	64.3	60.8
	読む能力	4	72.0	75.0	72.1
	言語についての知識・理解・技能	1	40.1	44.7	41.4
問題形式	選択式	5	78.7	81.8	79.6
	短答式	1	○ 86.9	88.7	84.1
	記述式	3	55.3	59.5	55.9

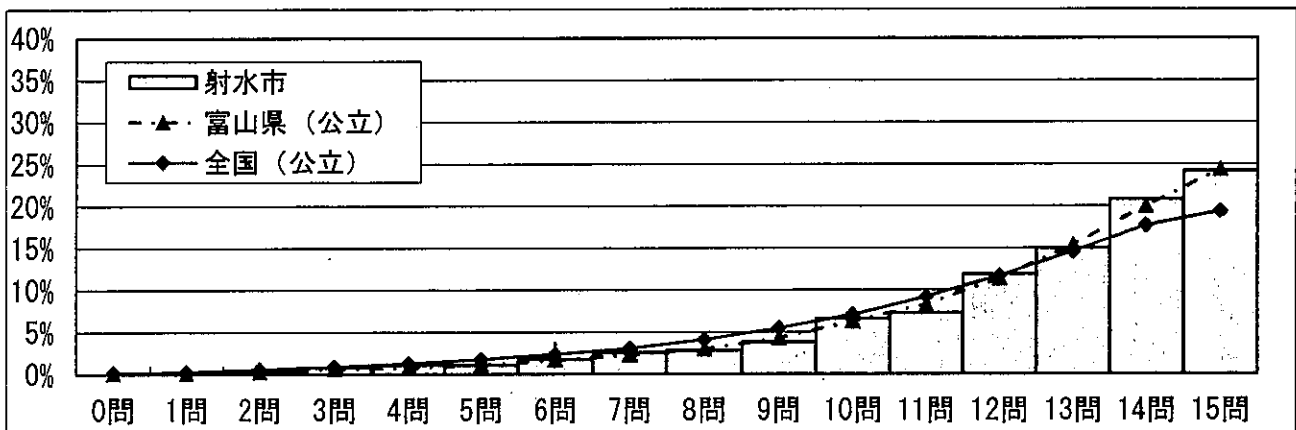


中学校国語

<p>結果の概要</p>	<p>○全体の平均正答率において、全国平均との比較では、国語Aは1ポイント上回っている。また、国語Bは同等である。</p> <p>●県平均との比較では、国語Aは2ポイント、国語Bは3ポイント下回っている。領域、観点、問題形式においては、すべての項目で下回っており、特に、国語Bの記述式問題において、県平均を4.2ポイント下回った。</p>
<p>A 主として「知識」</p>	<p>○「書くこと」の領域において、全国平均を1.0ポイント上回っている。射水市中教研国語部会で、3年間、「書くこと」に焦点を当てた研修に取り組んできた成果が表れたと考えられる。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域も全国平均を1.4ポイント上回っており、「漢字を書く」問題（設問9-3）「漢字を読む」問題（設問9二3）「語句の意味」の問題（設問9三ウエオ）については、県平均も上回った。授業では、漢字等の小テストをしており、基本が定着していると言えよう。</p> <p>●全国平均や県平均との差が大きい問題（4.0ポイント程度）が、「構成を工夫して話す」問題（設問2二）、「文章の要旨を捉える」問題（設問4一）、「文章の種類を問う」問題（設問9七2）であることから、話や文章を全体として捉え、読解したり表現したりする指導をしていく必要がある。また、書写（行書）の問題（設問9六1、2）からは、昨年に引き続き、書写の時間を大切にしなければならないことが分かった。</p>
<p>B 主として「活用」</p>	<p>○「書くこと」「読むこと」の領域においては、全国平均とほぼ同じという結果になっている。正答率が全国平均を上回った問題は9問中3問あった。</p> <p>●全ての領域、観点において、県平均を3.0～4.6ポイント下回った。問題別にみても、1.3～5.6ポイント県平均を下回っていた。前回の平成26年度（小学校6年）では、B「活用」は全体の正答率で全国平均を1.1ポイント上回っていたこと、A「知識」は領域、観点、問題形式の全てで全国平均を下回っていたことを考えると、「知識」では、定着が図られたと言える。今後は、基礎の「知識」をもとに「活用」する力を付けなければならない。そのために、単元や教材の指導内容を明確にするとともに、授業において、射水スタンダードで示されたことを今まで以上に確実に実践していく必要がある。</p>

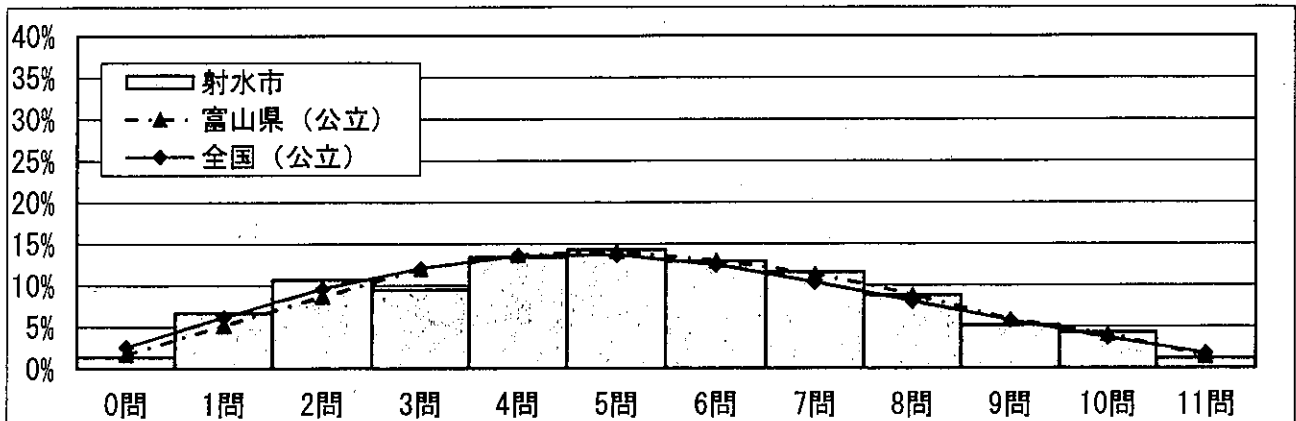
小学校算数A

分類	区分	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		15	◎ 82.0	82.0	78.6
学習指導要領の領域	数と計算	8	○ 84.7	84.8	80.6
	量と測定	2	◎ 71.9	71.5	68.8
	図形	2	○ 83.6	84.6	81.1
	数量関係	5	○ 83.5	83.8	79.6
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	8	○ 82.0	82.1	77.7
	数量や図形についての知識・理解	7	○ 82.6	82.8	79.7
問題形式	選択式	7	○ 82.2	82.4	79.6
	短答式	8	◎ 82.4	82.4	77.8
	記述式	0			



小学校算数B

分類	区分	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		11	◎ 47.0	47.0	45.9
学習指導要領の領域	数と計算	5	○ 55.0	55.1	52.8
	量と測定	2	46.5	46.9	47.0
	図形	1	11.2	12.8	13.2
	数量関係	8	○ 40.7	41.4	40.0
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	9	○ 46.1	46.8	45.4
	数量や図形についての技能	0			
	数量や図形についての知識・理解	2	○ 49.6	50.4	48.6
問題形式	選択式	3	53.7	55.3	54.1
	短答式	3	○ 62.6	63.6	61.7
	記述式	5	◎ 33.0	33.0	31.6

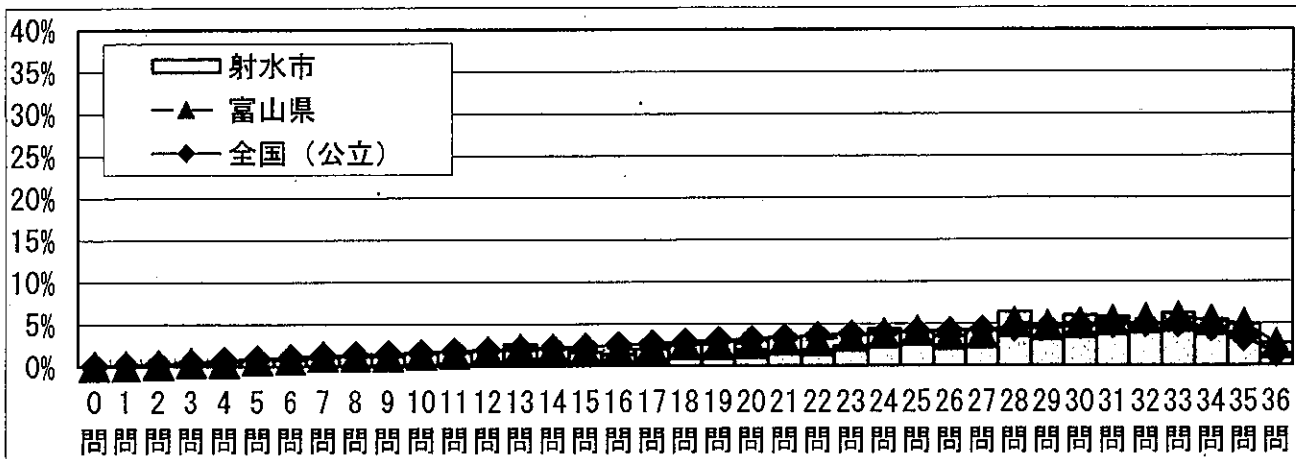


小学校算数

<p>結果の概要</p>	<p>○全体の平均正答率において、算数Aは3ポイント、算数Bは1ポイント、全国平均を上回っている。県平均は、算数ABとも同等であった。また、算数Aの全ての領域、観点、問題形式において、全国平均を上回っている。</p> <p>●算数Aの「数と計算」「図形」「数量関係」においては、全国平均を上回っているが、県平均を0.1～1ポイント下回っている。また、算数Bでは、全ての領域において、県平均を0.1～1.6ポイント下回っており、「量と測定」「図形」においては、全国平均よりも0.5～2ポイント下回っている。</p>
<p>A 主として「知識」</p>	<p>○「数と計算」の領域では、全国平均を4.1ポイント、「数量関係」の領域では、全国平均を3.9ポイント、「量と測定」の領域では、全国平均を3.1ポイント、県平均を0.4ポイント上回っており、概ね基礎知識を習得していることがうかがえる。(設問1、2、4、5、9)</p> <p>●「数と計算」の領域の「最小公倍数を求める」問題(設問3)、「数量関係」の領域の「□を用いて問題場面を表す式を選ぶ」問題(設問8)において、全国平均、県平均共に下回っている。具体的な問題場面と関連付けながら、用語の意味について理解することが大切である。また、場面を的確に捉え、図に表して□などの記号を用いて立式したり、式からどのような問題場面や図が想像できるのかを話し合ったりする活動を充実させることが大切である。</p>
<p>B 主として「活用」</p>	<p>○「数と計算」の領域の「示された条件を基に適切な式を立てる」問題(設問1(1))、「数と計算」「数量関係」の領域の「二つの数量の関係を一般化して捉えそのきまりを記述する」問題(設問1(3))において、全国平均を4.4～4.8ポイント上回っている。同じ領域の「示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する」問題(設問2(1))においても、全国平均を3.6ポイント上回っている。</p> <p>●「数と計算」の領域の「直線の数とその間の数の関係から示された方法を問題場面に適用する」問題(設問2(2))の平均正答率は25.2%となっている。「図形」「数量関係」の領域の「身近なものに置き換えた基準量と割合を基に比較量を判断しその理由を答える」問題(設問5(2))では、平均正答率は11.2%にとどまっている。両者とも記述形式である。過不足なく説明するために、情報の中から必要なものを選択したり、示された方法を他の場面に適用したりする学習が大切である。また、日常生活において割合を活用し数学的に解釈したり、事柄を適切に判断してその理由を数学的に表現したりする学習を充実させることが大切である。</p>

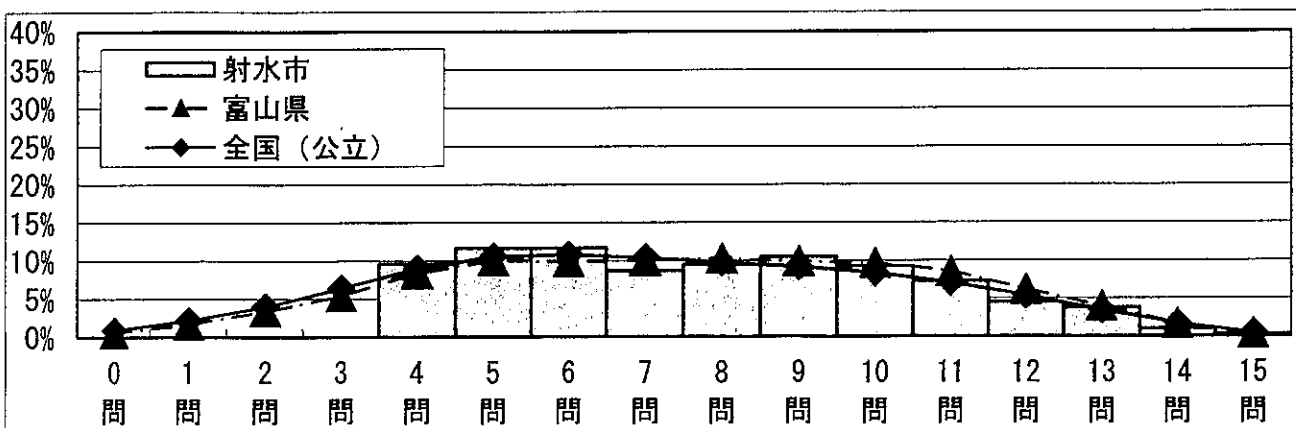
中学校数学A

分類	区分	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		36	◎ 68.0	68.0	64.6
学習指導要領の領域	数と計算	12	◎ 74.3	73.8	70.4
	量と測定	12	○ 67.1	67.5	66.0
	図形	8	◎ 63.3	61.3	57.4
	数量関係	4	○ 64.0	64.3	57.6
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	20	◎ 73.1	71.8	68.2
	数量や図形についての知識・理解	16	○ 62.3	62.9	60.2
問題形式	選択式	13	○ 67.9	68.9	66.8
	短答式	23	◎ 68.5	67.3	63.4
	記述式	0			



中学校数学B

分類	区分	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
全体		15	48.0	50.0	48.1
学習指導要領の領域	数と計算	3	46.0	48.3	46.3
	量と測定	6	○ 47.1	48.9	47.1
	図形	3	○ 51.4	54.3	50.8
	数量関係	3	○ 49.8	51.3	49.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	10	36.3	38.6	36.8
	数量や図形についての技能	3	○ 62.6	64.0	61.2
	数量や図形についての知識・理解	2	○ 86.5	88.7	85.1
問題形式	選択式	4	○ 55.8	56.7	53.8
	短答式	6	○ 66.9	69.4	66.3
	記述式	5	19.8	22.5	21.7



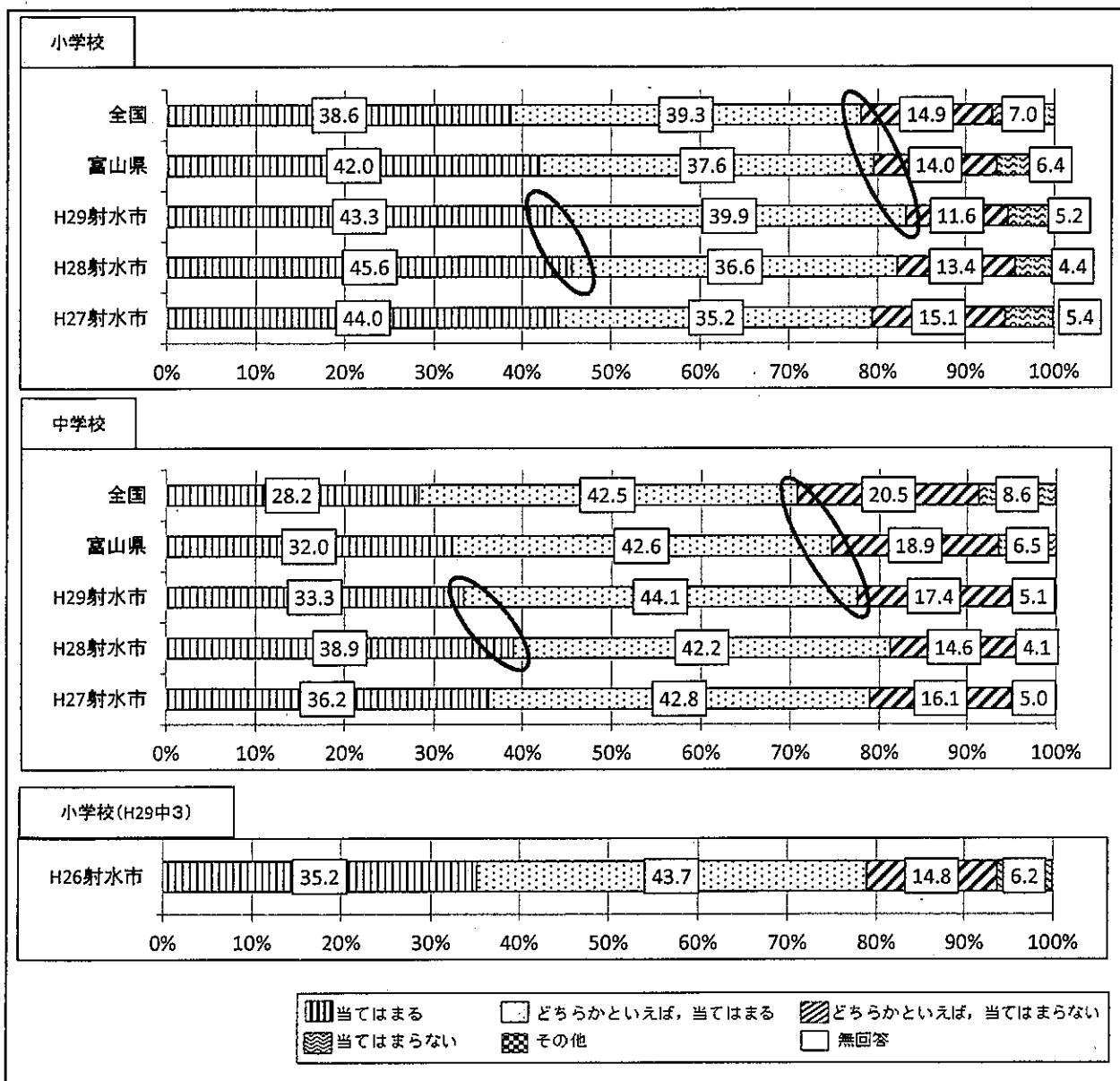
中学校数学

<p>結果の概要</p>	<p>○数学Aでは、全体の平均正答率において、全国平均を3ポイント上回り、全ての領域、観点、問題形式における平均正答率においても、全国平均を1.1~6.4ポイント上回っている。県平均との比較では、全体の平均正答率においては、同等であり、領域、観点、問題形式における平均正答率においては、約半数が上回っている。</p> <p>●数学Bでは、全体の平均正答率において、県平均を2ポイント下回っており、また、全ての領域、観点、問題形式における平均正答率においても下回っている。全国平均との比較では、全体の平均正答率においては同等であり、領域、観点、問題形式における平均正答率においては、ほぼ上回っている。</p>
<p>A 主として「知識」</p>	<p>○「反比例の表から比例定数を求める」問題（設問10(3)）においては、県平均を5.7ポイント、全国平均を13.8ポイント上回っている。「度数分布表から、ある階級の相対度数を求める」問題（設問14(2)）においては、県平均を1.6ポイント、全国平均を18.5ポイント上回っている。</p> <p>●「図形」の領域の「角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ」問題（設問4(1)）においては、県平均、全国平均ともに5.3ポイント下回っている。「数と計算」の領域の「$x + y = 2$の解の意味について選ぶ」問題（設問3(3)）においても、県平均を3.9ポイント、全国平均を0.9ポイント下回っている。平面図形を論理的に考察し表現したり、二元一次方程式と解の意味を理解したりする学習活動を行う必要がある。</p>
<p>B 主として「活用」</p>	<p>○「若菜さんの1週間の総運動時間が長いかどうかを判断するための根拠となる値として適切なものを選ぶ」問題（設問5(2)）においては、県平均を0.2ポイント、全国平均を5.5ポイント上回っている。「六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求める」問題（設問2(1)）においては、県平均を0.7ポイント、全国平均を2.4ポイント上回っている。</p> <p>●「四角形ABCDの模様が1回の回転移動によって四角形BEFGの模様と重なるとき、どのような回転移動になるかを説明する」問題（設問1(2)）においては、県平均を4.1ポイント、全国平均を4.6ポイント下回っている。「六角形をn個並べて6本囲んだときに、2回数えているストローをnを用いた式で表す」問題（設問2(2)）においては、県平均を6.2ポイント、全国平均を3.4ポイント下回っている。観察や操作、実験などの活動を通して、見通しをもって作図したり、図形の関係について調べたりして、平面図形についての理解を深める活動を取り入れる必要がある。また、文字を用いて数量の関係や法則等を式に表現したり、式の意味を読み取ったりする活動を取り入れる必要がある。</p>

3 学習状況調査の結果及び考察 <抜粋>

(1) 児童・生徒質問紙より

① 自分には、よいところがあると思いますか。

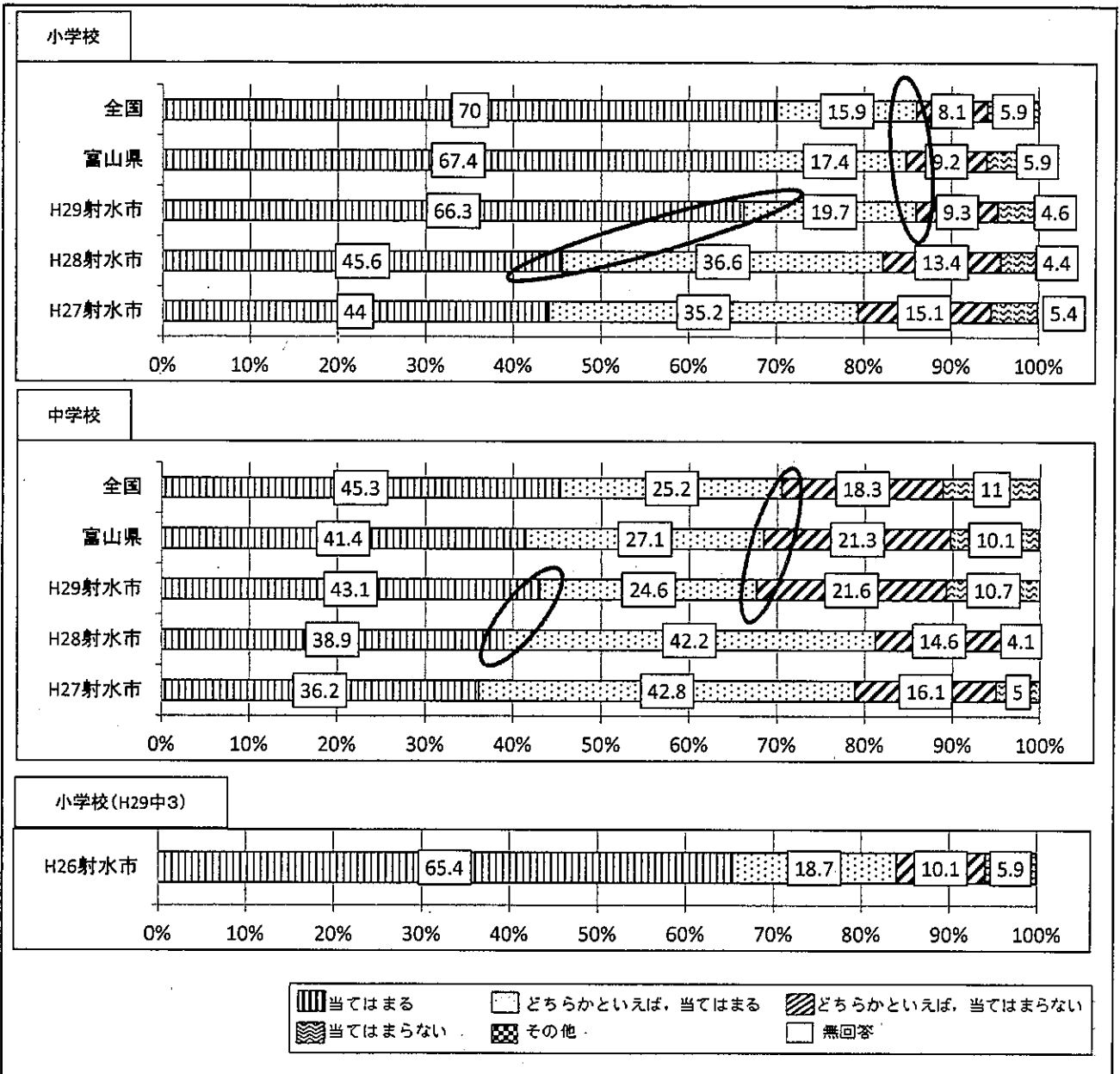


【考察】

小学校、中学校とも「当てはまる」が昨年度より、それぞれ、2.3ポイント、5.6ポイント減少したが、県平均や全国平均を「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合とも上回っており、昨年度同様、依然として自分に自信をもつ児童生徒の割合が高いと言える。多くの学校が「自尊感情」の育成を図る教育活動を継続して実践しており、その成果であると考えられる。

今後も「豊かな人間関係づくり支援事業」によるQ-U調査やエンカウンター等の活用から得られた成果を市内の小中学校で共有し、取組を継続していくことが大切である。さらに、児童生徒が行事や学習等へ取り組む際に、児童生徒自身に目標や工夫する点、努力する点などを考えさせ、その基準に沿ってどこまで達成できたのかを評価し、認めることで「自己有用感」を育むよう支援することが望まれる。

② 将来の夢や目標を持っていますか。

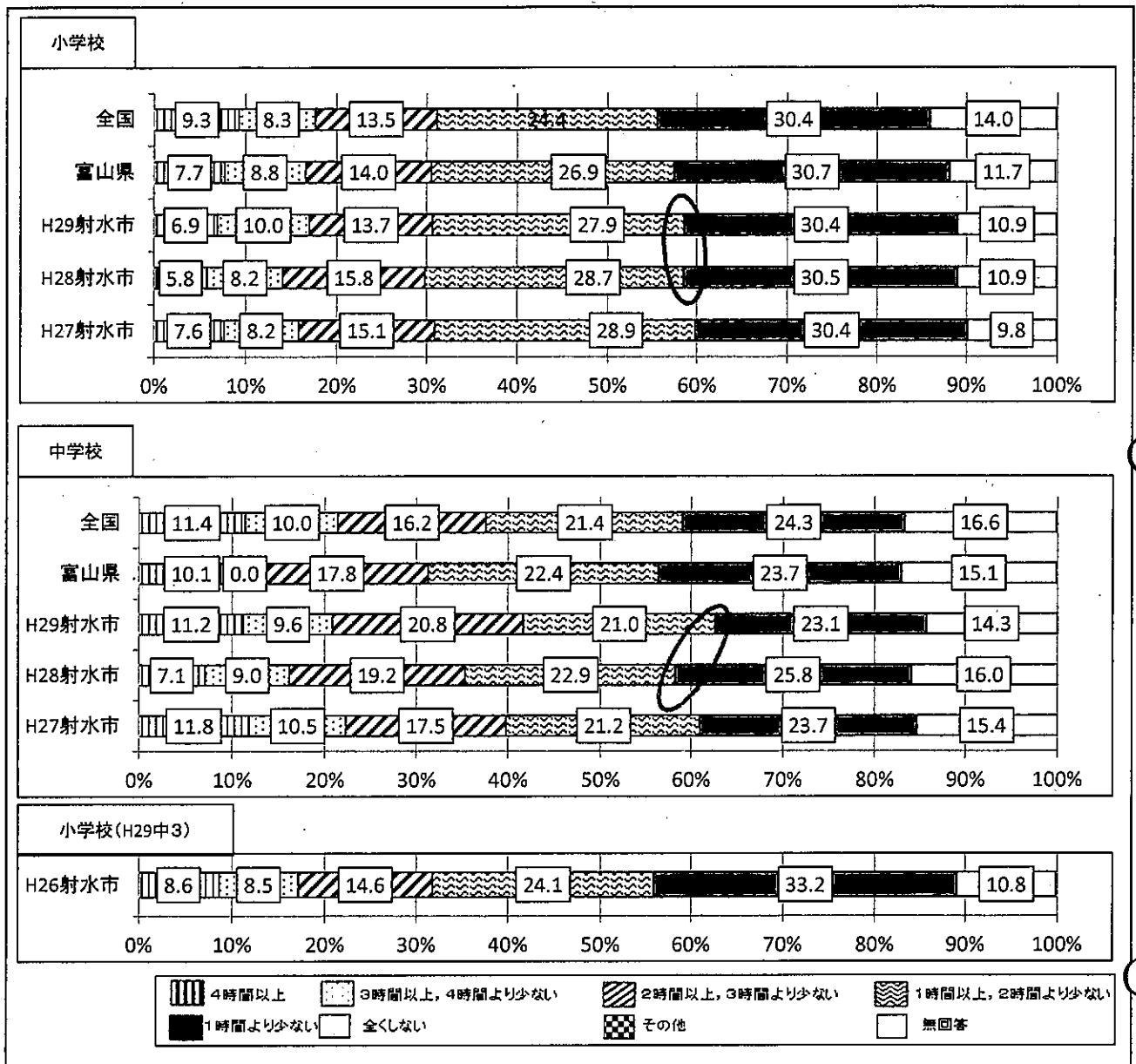


【考察】

小学校、中学校とも「当てはまる」が昨年度より、それぞれ、20.7ポイント、4.2ポイント増加した。また、小学校では「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた割合が、県平均や全国平均をやや上回っている。中学校では、全国平均を2.8ポイント、県平均を0.8ポイント下回っており、小学校時との比較においても、16.4ポイント減少している。

小学校では、キャリア教育の視点から教育活動の充実が図られている成果と捉えることができる。中学校では、生徒が上級学校への進学や将来の生き方を具体的に考え始める時期にさしかかっており、理想と現実との間で悩みをもつ生徒も多い。個に応じた指導や具体的な目標意識をもたせる指導の充実を図るとともに、一人一人の生徒に寄り添い、あらゆる教育活動で目標を達成しようとする意欲を向上させるような支援を行っていくことが重要であると考えられる。

③ 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

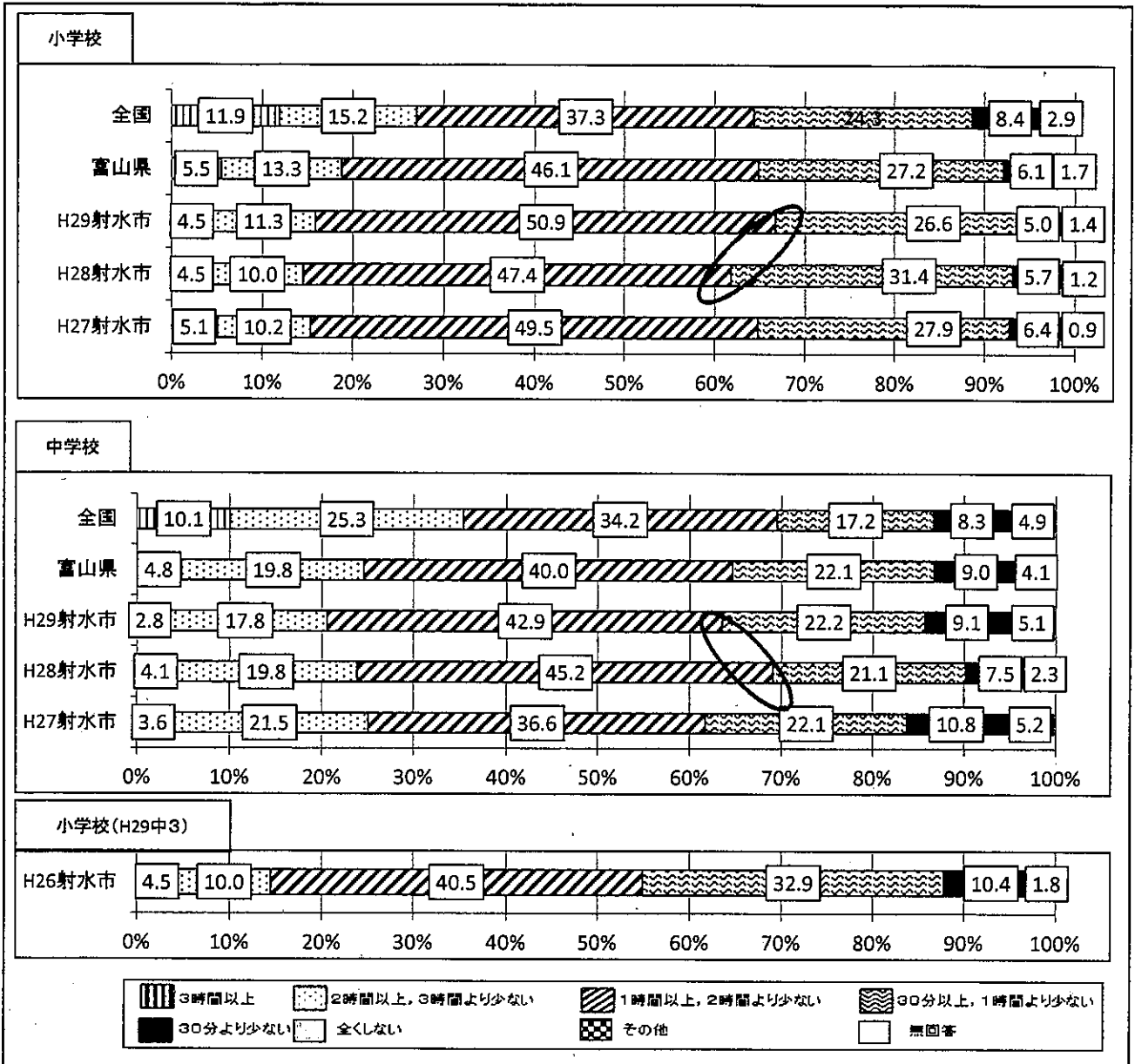


【考察】

小学校は「1時間以上」ゲームをしている児童の割合が、昨年度と同じであるが、中学校は昨年度に比べて4.4ポイント増加している。小中学校とも依然として「1時間以上」ゲームをしている割合は、県平均や全国平均を上回っており、ゲームにかける時間が長いことが分かる。昨年度末の市の児童（小4年生以上）生徒対象のネット利用実態調査においても、オンラインゲーム利用率が高いことがわかっている。

今年度、各校毎に「ネットルールづくり」を進めている。この機を逃さず、ネットやゲームの利用について、児童生徒が自発的にルールを遵守するよう推進するとともに、家庭と連携し、よりよい生活習慣の確立を目指して、市全体で一体的に取り組む必要がある。併せて、時を大切に、夢や目標に向かって、家庭学習等、今すべき努力をするたくましい児童生徒の育成に取り組むことが望まれる。

④ 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

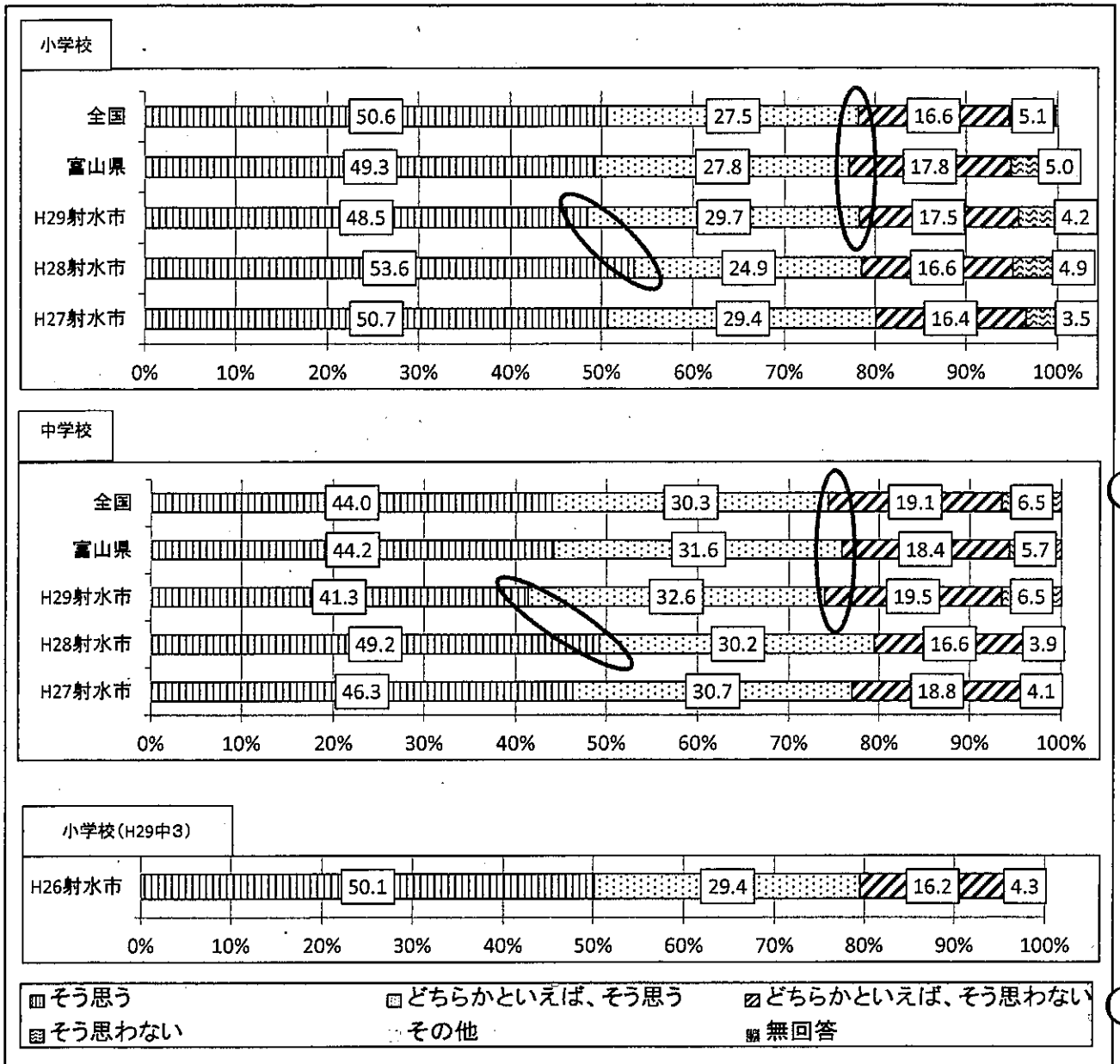


【考察】

小学校は、「1時間以上」家庭学習に取り組んでいる割合が昨年度より4.8ポイント増加し、全国平均、県平均ともに上回っている。こうした家庭学習の定着が、学力の定着の一因と考えられる。一方、中学校は、「1時間以上」取り組んでいる割合が、昨年度より5.6ポイント減少し、全国平均や県平均を下回っており、全体の平均正答率が、県平均を下回る結果の一因と考えられる。

小学校は、本市全体の取組みである「進んで学ぶ射水っ子」のノート表紙を活用した家庭学習の推進を継続し、家庭との連携を図りながら、家庭学習の定着、実施率の向上を目指すことが望まれる。また、中学校は、質問紙③(P20)の結果からも分かるように、ゲームにかける時間が長いことから、適切な時間の使い方の指導に努めていく必要がある。

⑤ 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

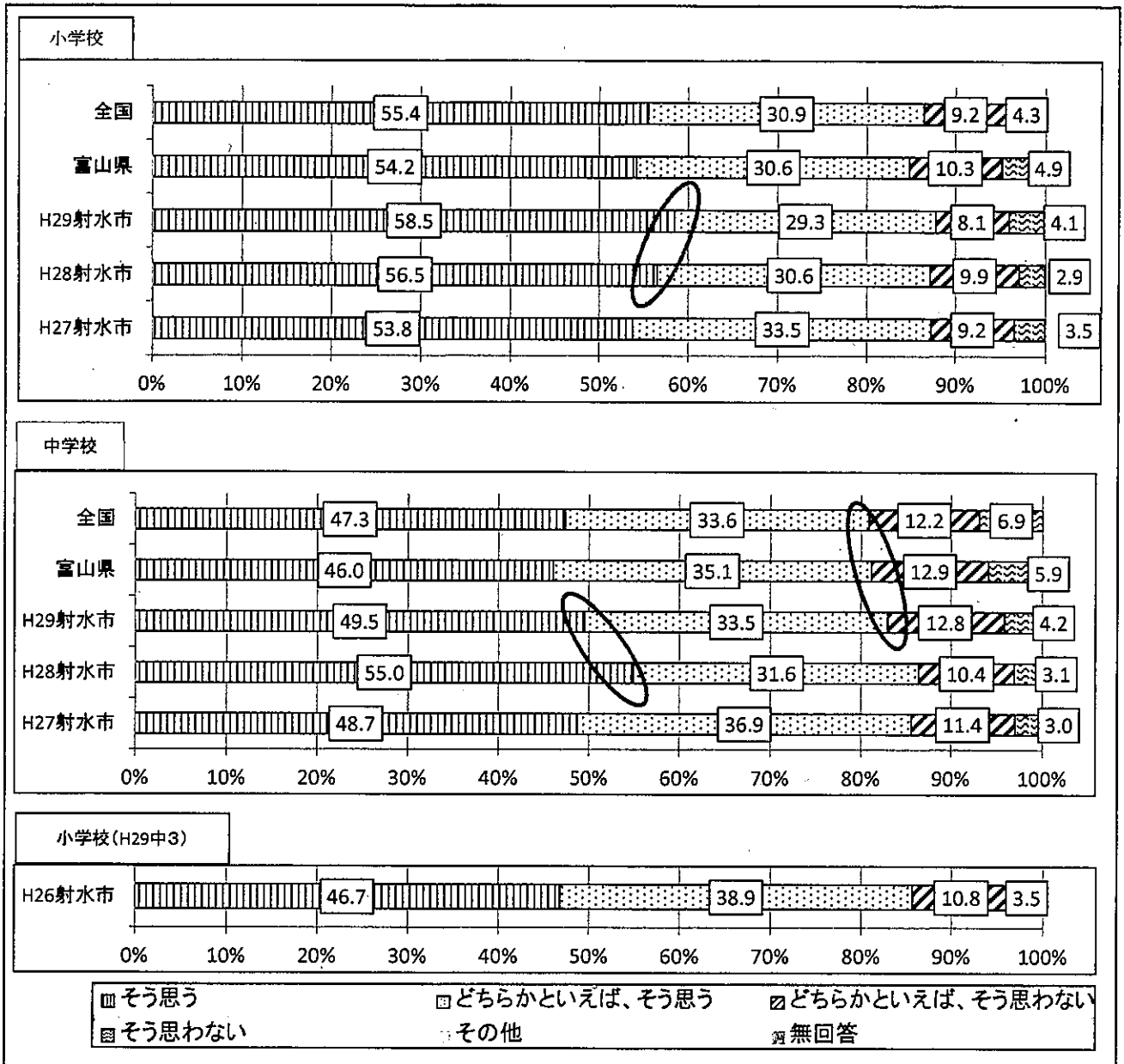


【考察】

「そう思う」の昨年度との比較では、小学校では5.1ポイント減少、中学校でも7.9ポイント減少している。また、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせると、小学校では全国平均や県平均をわずかに上回っているものの、中学校では全国平均や県平均を下回っている。

少子化や核家族化などライフスタイルの多様化が、児童生徒を取り巻く環境を変化させていることを踏まえ、各家庭の状況をしっかりと把握していくことが重要であると考えられる。家庭での会話は、児童生徒の成長を促す大きな要素であると考えられることから、今後もPTAとの連携も強化し、「あったか家族3つのポイント」が、より充実するよう各家庭に働きかけていく必要がある。

⑥ 学校に行くのは楽しいと思いますか。

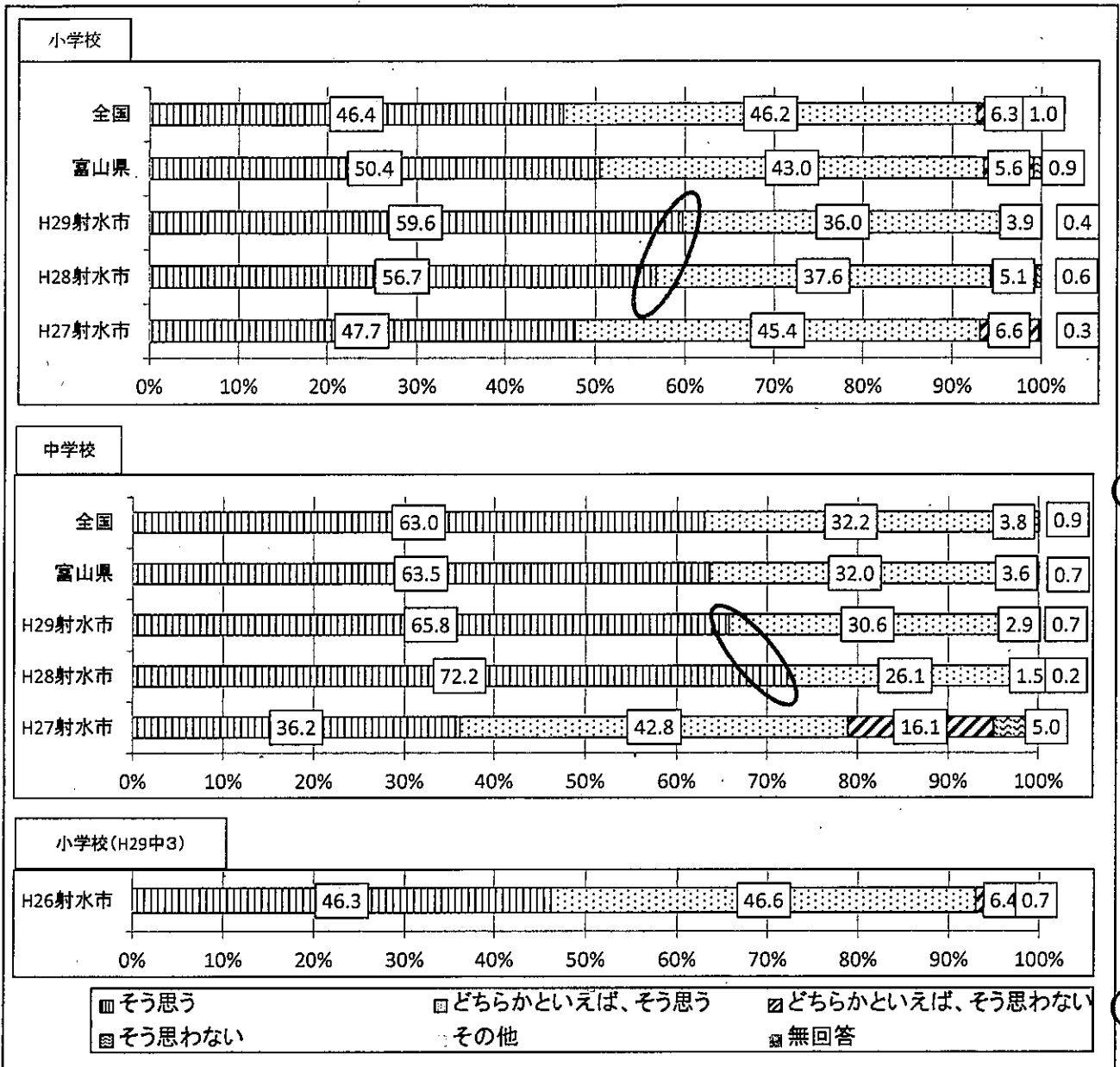


【考察】

小学校は「そう思う」が昨年度より2.0ポイント増加し、全国平均や県平均を上回っている。中学校は「そう思う」が昨年度より5.5ポイント減少したが、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合は、全国平均や県平均を上回っている。依然として、学校に自分の居場所がある児童生徒の割合は高くなっている。

昨年度と比較すると、小学校は、概ね学校に自分の居場所があると感じている児童の割合が高くなっているが、中学校では低くなっている。質問紙1【自尊感情】を見ると「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合が、小学校は昨年より高くなり、中学校は低くなっていることから、相関性があると考えられる。あらゆる活動で、一人一人の児童生徒見つけ、認め励ますとともに、授業において、どの児童生徒も「できた」「分かった」「認められた」と学びの成果が感じられるよう授業力の向上に努め、自尊感情を育てていくことが大切である。

⑦ 学校のきまり【規則】を守っていますか。

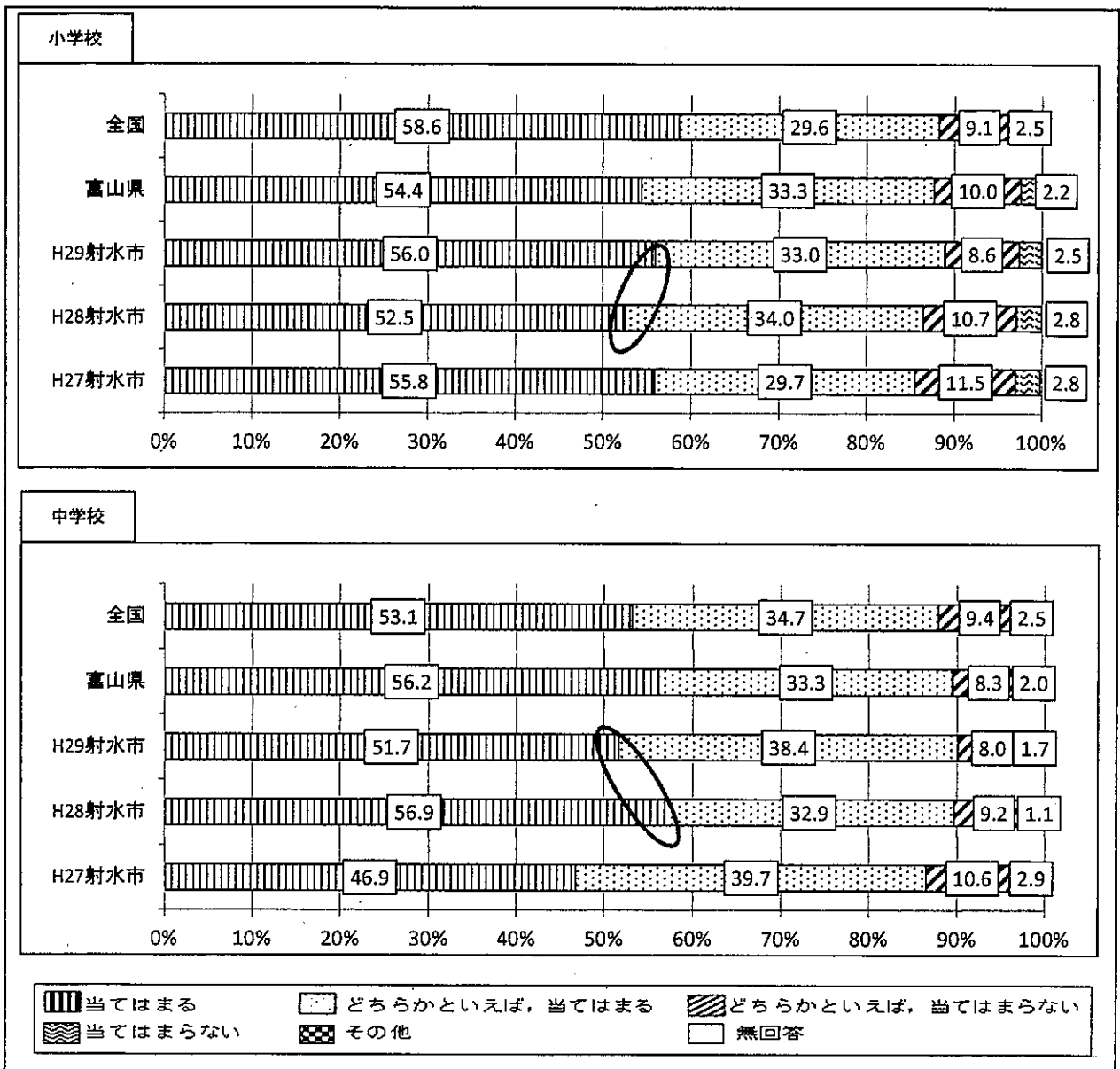


【考察】

小学校は「そう思う」が昨年度より2.9ポイント増加し、全国平均や県平均を上回っている。中学校は「そう思う」が昨年度より6.4ポイント減少しているが、全国平均や県平均を上回っている。また、小学校時と比較すると19.5ポイント増加している。

これは、各校において、規範意識を育む取組を、意図的・計画的に推進してきた成果だと考えられる。今後の定着に向けては、児童生徒自らが規範を守り行動するという自主・自律の精神を育てていく必要がある。規律ある学校生活は、児童生徒の集中力の向上とともに安全・安心した教育の実現につながり、より学びを広げたり、深めたりし活動の充実が図られ、児童生徒が自信を身につける重要な要素であると考えられる。

⑧ 授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。

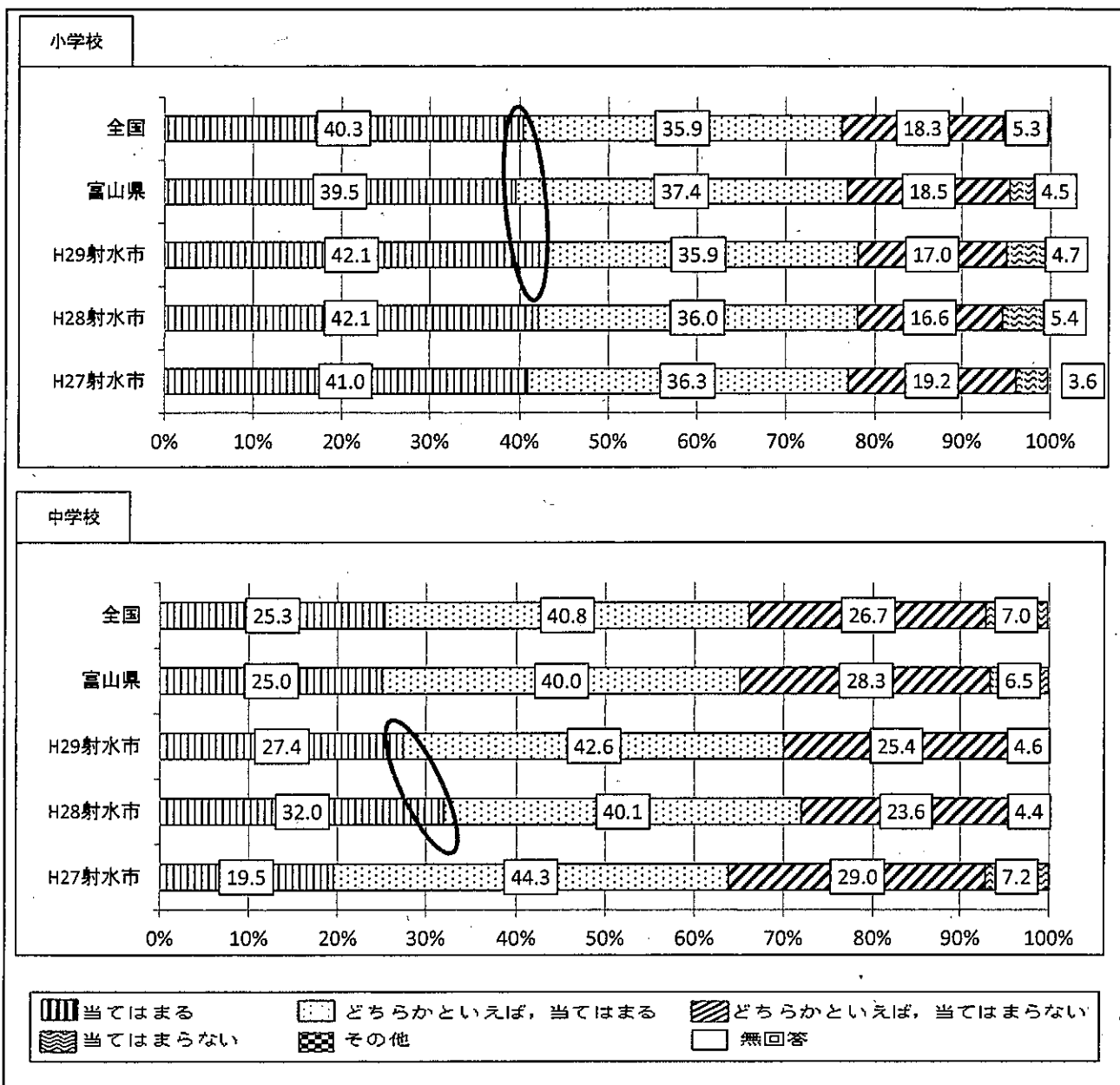


【考察】

小学校は「当てはまる」が昨年度より3.5ポイント増加し、県平均よりも上回っている。中学校は「当てはまる」が昨年度より5.2ポイント減少し、県平均よりも下回っている。また、小中学校ともに、全国平均よりも下回っている。

本市では、全教員の「射水スタンダード～授業のABC～」の実践推進を図り、特に、昨年度から「学習課題」の表現についての検討を進めてきた。この結果とともに、学校質問紙の解答状況（P20）から、課題（目標）明示の徹底が図られていない様子が見受けられる。毎時間、授業における「ゴールの姿」を可視的に表現し、明示することで児童生徒が学習の成果を、教師は指導の成果を実感できると考える。児童生徒の「学びに向かう力」を引き出すうえでも、今後の実践に努めてほしい。

⑨ 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。



【考察】

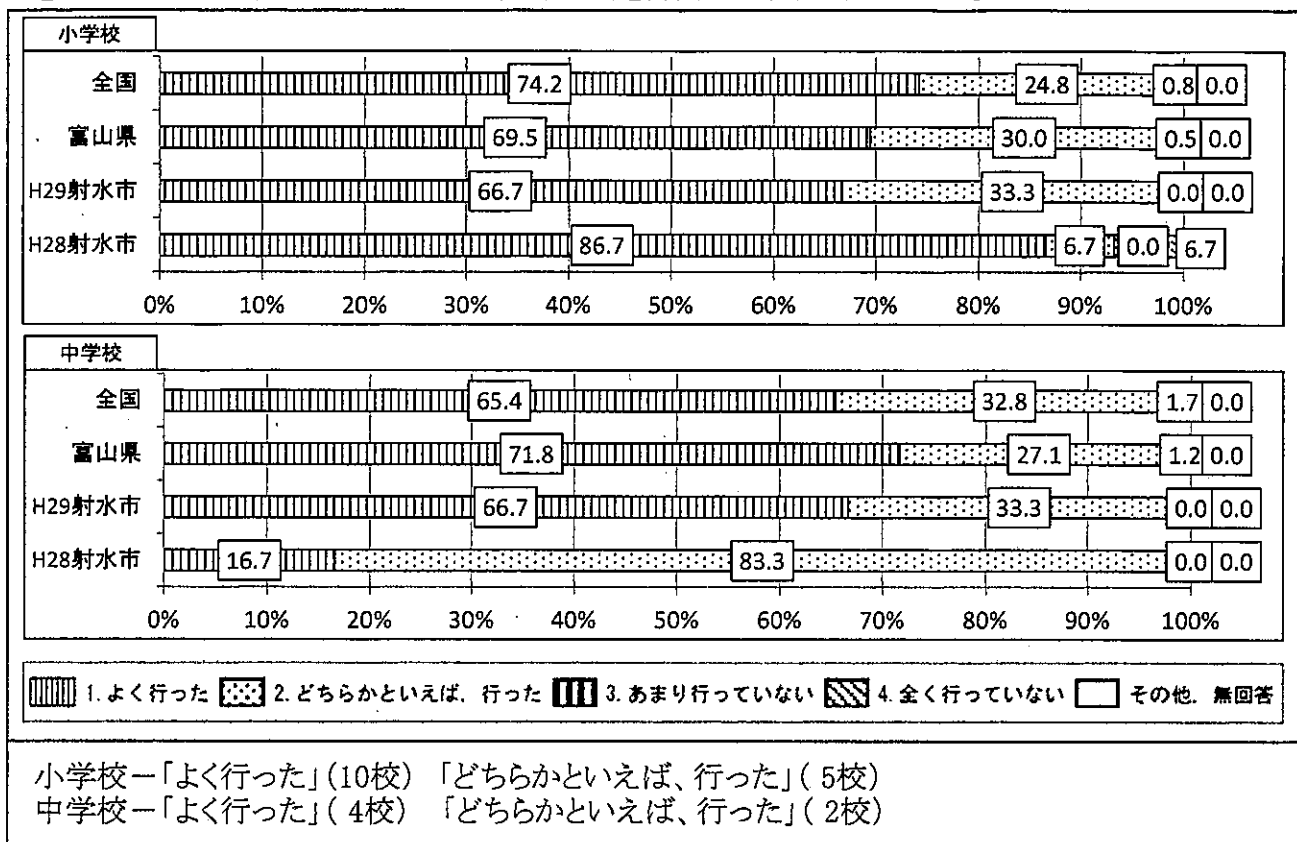
小学校は「当てはまる」が、昨年度と同じ割合であり、全国平均や県平均を上回っている。中学校は「当てはまる」が昨年より4.6ポイント低下しているが、全国平均や県平均は上回っている。

しかし、学校質問紙（P20）の結果からは、小中学校とも振り返りの活動を「よく行った」割合が、全国平均、県平均を下回っている。また、児童生徒の「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」との回答が、小学校では約2割、中学校では約3割あり、重要な課題と受けとめる必要がある。

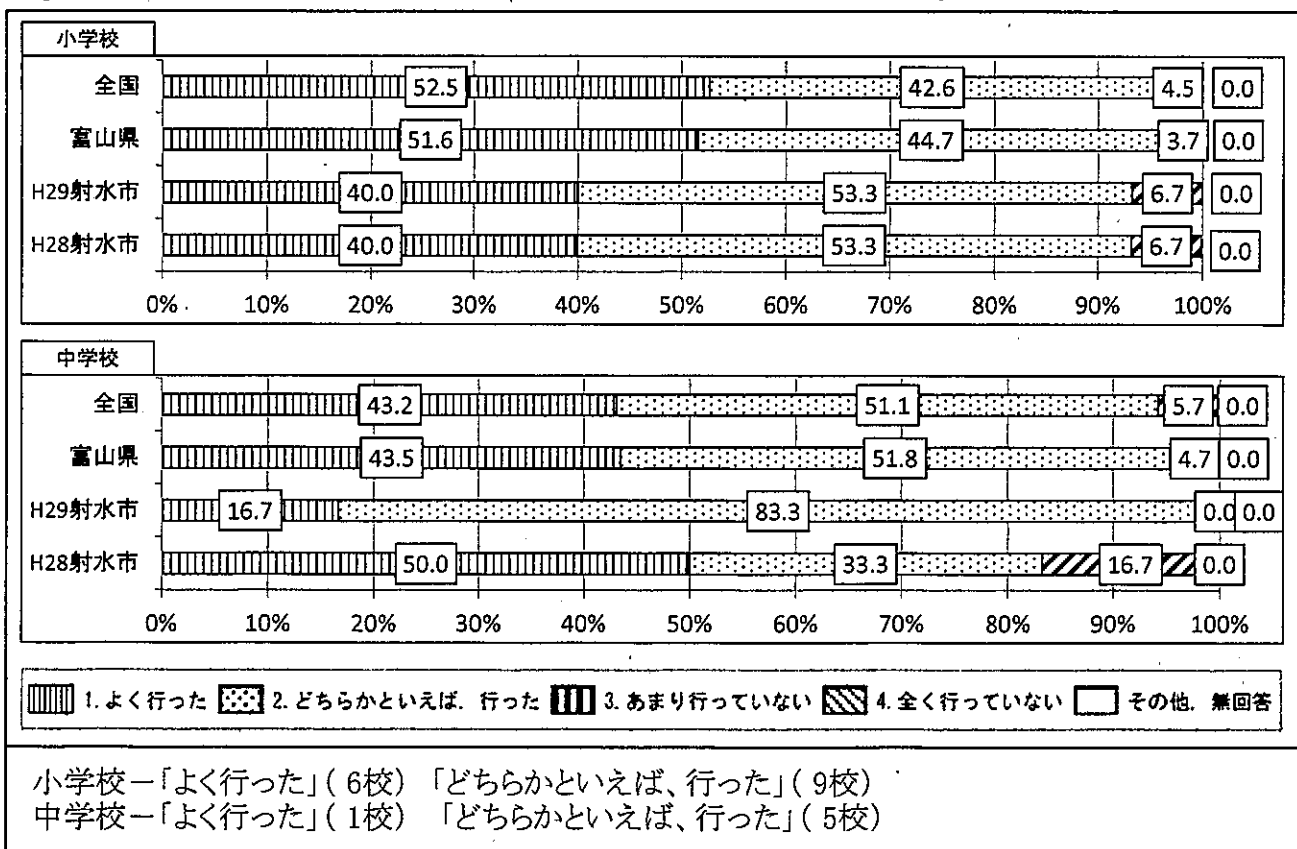
「振り返り」は、児童生徒の学力の向上、定着に欠かすことができない活動である。「学習課題の明示」と照らし合わせた授業を構想し、課題で示した「ゴールの姿」に応じた「振り返り」活動を毎時間実践していくことが望まれる。

(2) 学校質問紙より

① 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか。

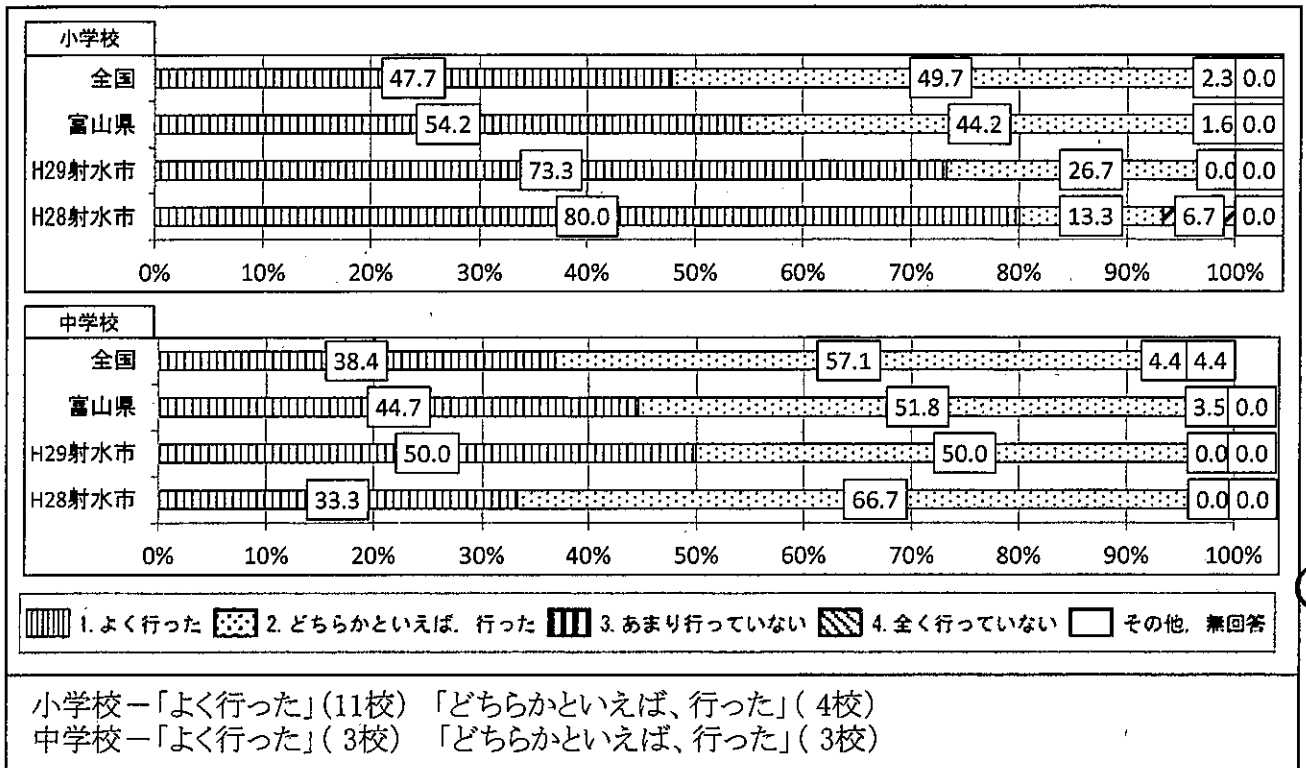


② 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。



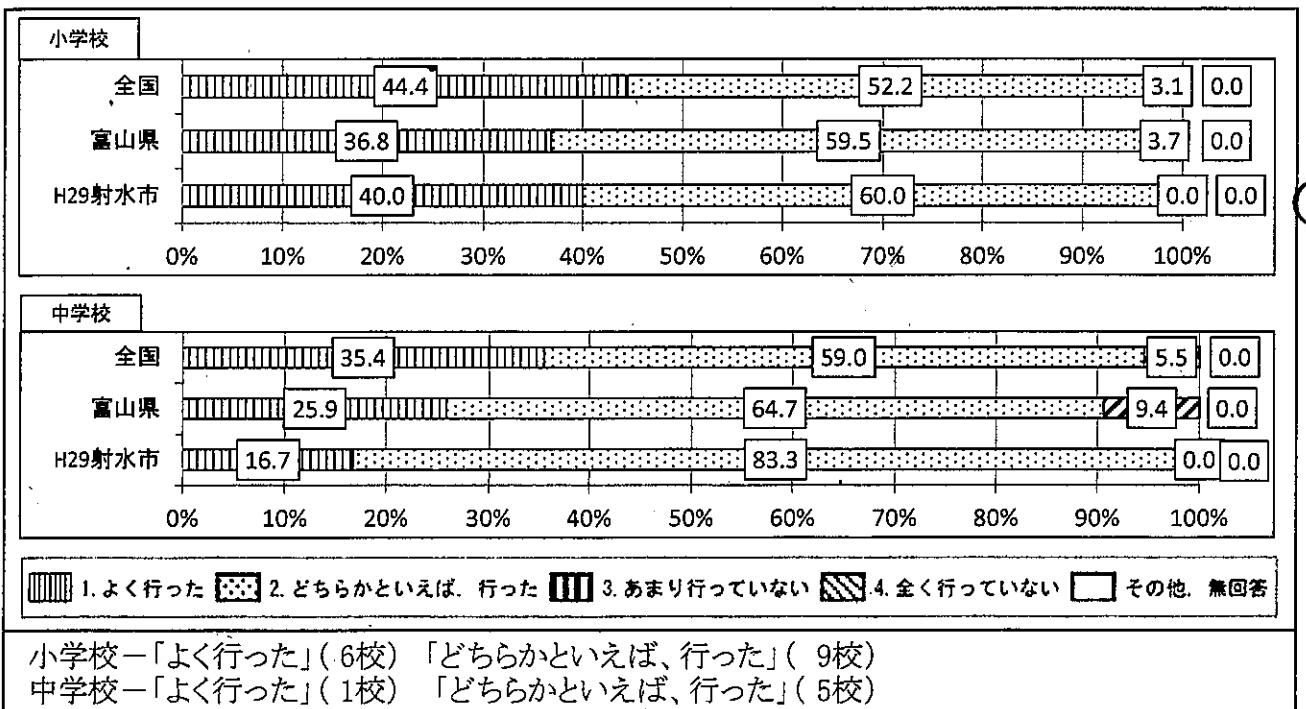
射水スタンダード～授業のABC～に位置づけている、「学習課題(目標)の明示」「振り返り活動」を「よく行った」割合が、小中学校とも県平均を下回っている。
 射水市全体の共通課題として、改善に努める必要がある。(P18 P19 参照)

③ 学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、伝えるなど積極的に評価しましたか。



小学校・中学校とも「よく行った」割合が、県や国平均を上回っている。今後も児童生徒一人一人のよさや可能性を様々な教育活動を通して見つけ、褒め、励まし、「自尊感情」を育成していくことが望まれる。

④ 平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。



小中学校とも全国の平均を下回っていると同時に、中学校は、県平均も下回っている。各校の学力の課題を学習状況調査と照らし合わせながら分析し、課題解決に向けた具体的な取組の実践が望まれる。

今後の射水市の取組

C

€

IV 今後の射水市の取組

射水市学力向上委員会

射水市学力向上委員会は、射水市教育振興基本計画（平成27年2月策定）に明記された基本的施策「確かな学力の定着」を推進するため、射水市の小中学校が重点的に取り組む内容として次の事項を提示する。

1. 確かな学力を育むための計画的な研修等の充実
2. 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成
3. 基本的な生活習慣の確立及び家庭学習の定着

1. 確かな学力を育むための計画的な研修等の充実

- 全国学力・学習状況調査や小中教研学力調査等の結果を分析し、教師の授業改善や児童生徒の生活改善に向けて取り組む。
- 射水市マイスター教員を任命し、優れた授業実践を若手教員を中心に公開することで、実践的指導技術の向上と継承を図る。
- 中学校区単位で「豊かな人間関係づくり支援事業」を推進するとともに、教育アドバイザーによる指導・支援体制を継続する。また、各校では、学級診断尺度調査(Q-U調査)を実施し、調査結果を活用して望ましい学級集団づくりのための研修を推進する。
- 授業の基本的事項として「射水スタンダード～授業のABC～」を共通理解し実践するとともに、定期的に自己評価を行う。
- 自尊感情を育む学習課題の提示を意識し、児童生徒が学びの成果を、教師が指導の成果を実感できるよう、授業改善に取り組む。
- 研究授業後の「授業研究協議ステージアップ」の活用、校内でのOJT等、教員同士が互いに切磋琢磨しながら授業改善を図る。
- 若手教員の指導力向上を目指した校内研修を計画的に進めるとともに、「授業力向上のちょいテク」を効果的に活用する。
- 中学校区で小中合同研修会を実施し、教科等をまとまりとした部会を設けるなど、学習指導における積極的な連携を推進する。

2. 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成

- 学習につまずいている児童生徒に対し、状況に応じてきめ細かく対応できるように校内でのサポート体制を整えるとともに、個に応じた指導の場を工夫する。
- 知識及び技能の確実な習得のために、「単元確認問題」「わくわくチャレンジ(小学校)」「レッツチャレンジ(中学校)」(富山県総合教育センター作成)等を活用するなどの学習方法を工夫する。
- 思考力、判断力、表現力等を育成するため、児童生徒自ら課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめたり表現したりするなどの学習活動を工夫する。
- 全国学力調査問題に関わる「B問題に挑戦」「設問別ワークシート」(富山県総合教育センター作成)、「授業アイディア例」(文部科学省作成)を計画的に活用する。

3. 基本的な生活習慣の確立及び家庭学習の定着

- 身に付けさせる学習規律を明確にするとともに、全教員の共通理解の基に指導を徹底する。
- 家庭学習の手引きや自主学習ノートを活用したり、家庭学習の課題を授業内容と関連させたりしながら、家庭学習の定着を図る。
- 「マイサポーター制度」を活用して学校生活における悩みの解決を支援したり、「気がかりポスト」を校務分掌に位置付けて問題等の未然防止につなげたりすることで、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようにする。
- メディア使用時間やネット利用のルール作りに取り組み、学校と家庭とが一体となって実践する。
- 家庭との連携を図りながら教育活動の様々な機会を捉え、「あったか家族の3つのポイント～家族一緒に食事、おしゃべり、お手伝い～」の取組を推進する。
- スポーツ少年団や中学校部活動の活動日、活動時間の在り方をPTA等と連携して検討する。

平成29年度いみず^{ほうすう}鳳雛きらめき塾の実施について
 —グローバル人材育成のための基盤づくり—



学校教育課

1 目的

社会情勢の変化により情報化や国際化が急速に進む中、新しい時代を切り拓くグローバルな人材育成のため、意欲ある中学生（鳳雛）に、貴重な体験と刺激を得る機会をつくり、将来世界に羽ばたき、明日の射水を担うたくましい人材を育成する。（鳳雛とは、鳳凰のひなのことで、将来様々な分野での活躍が期待される少年の意味。）

2 概要

- ・内容 本市にゆかりがあり東京で活躍する事業家に密着し、東京のビジネスマン（社長業）の疑似体験や、各界の第一線で活躍する先輩など（起業家など）との懇談・意見交換などを行う。
- ・場所 東京都内・射水市内
- ・期間 10月29日（日）～30日（月・代休）、11月11日（土）
 ※10月30日（月）は、学習発表会（28日（土））の代休日
- ・参加校及び人数
 新湊・小杉・小杉南中学校から各2名、合計6名（男子5名、女子1名）

3 スケジュール概略（予定）

(1) 東京都内：(株)アトム（東京都千代田区麴町）など

日程	時間	項目	体験内容	講師
10/29 (日)	午後	集合、移動	東京都内へ移動	—
		オリエンテーション	顔合わせ、事前説明	青井 茂
		宿泊	東京都内で宿泊	—
10/30 (月・代休)	午前	ランニング	青井氏と伴走（皇居周辺）	青井 茂
		会議見学	会社取引先（外国人クライアント等）との打合せや社内会議に同席し社長業を疑似体験	青井 茂
	午後	懇談・座学	射水市ゆかりの先輩などと懇談し、人生観などを学ぶ	松本恭攝 ほか
		移動、解散	射水市へ移動・帰宅	—

※講師については、上記の方に加え、アスリート等と交渉中。

(2) 射水市内：uchikawa 六角堂（射水市八幡町）

日程	時間	項目	体験内容	講師
11/11 (土)	10:30	ワークショップ	講義・意見交換 人生の選択・決断についての体験談、 中学生のなりたい自分について	明石博之
		総括、解散	本事業全体の感想と総括、昼食	事務局

概要 東京での体験を終えた中学生と講師がこれまで歩んできた生き方を交えながら、将来なりたい自分について意見交換する。

4 講師(予定)

○青井^{あおい}茂^{しげる} (株)アトム代表取締役副社長

1977年東京都生まれ(39歳)。百貨店丸井の創業者である青井忠治(旧小杉町出身)の孫。同社は富山の野球やサッカーチームの活動をサポートしている。今年2月に祖父の故郷である小杉中学校で講演。

○松本^{まつもと}恭^{やすか}攝^{かね} ラクスル(株)代表取締役社長

1984年射水市中太閤山生まれ(32歳)。中学2年生まで小杉南中学校に在籍。2009年9月に(株)ラクスルを設立。インターネットを使った新しい仕組みで印刷業界に革命を起こし、経済誌が発表した日本の起業家ランキング2017で3位に選ばれた。昨年11月に母校の小杉南中学校で講演。

○明石^{あかし}博^{ひろ}之^{ゆき} (株)地域交流センター企画代表取締役

1971年広島県尾道市生まれ(45歳)。全国各地のまちづくりをプロデュース。内川周辺の魅力に惹かれ、拠点を射水市に移し、2013年1月に古民家(空き家)を改装した「カフェ uchikawa 六角堂」(射水市八幡町)をオープン。まちづくりコーディネーションやイベント企画・運営などで活躍。

※講師については、上記の方に加え、アスリート等と交渉中。

5 その他

- ・参加者は事業終了後、事業報告書(感想など)を作成し、事業成果を市内全中学生に広く伝える。
- ・事業期間中は、中学校教員と市職員が同行する。

平成29年度カニ学校給食の実施について

学校教育課

1 概要

新湊漁業協同組合から市内小学校6年生（871名）を対象に、学校給食としてベニズワイガニを提供いただくもの。

2 趣旨

児童に地元の特産品であるベニズワイガニを味わってもらい、地域の自然や食文化に関する理解を深めてもらうことで、食育の推進を図る。

また、特色ある給食として県内外に情報発信することで、射水市の特産品であるベニズワイガニの知名度アップを図るとともに地産地消を推進する。

3 セレモニーの実施（実施校；中太閤山小学校）

(1) 日時及び場所

- ・日時 平成29年10月6日（金）12：00～
- ・場所 中太閤山小学校 2階マルチ

(2) 参加者

射水市	新湊漁業協同組合	中太閤山小学校
市長 夏野 元志 教育長 長井 忍	代表理事組合長 尾山 春枝 参事 西本 邦郎	校長 島崎 泰子 関係教諭 数名 6年生児童（64名）

(3) 当日の流れ

- ① 市長あいさつ
- ② 新湊漁業協同組合 代表理事組合長あいさつ
- ③ 児童代表から感謝の言葉
- ④ ベニズワイガニの生態系や漁法、食べ方等の説明（新湊漁業協同組合）
- ⑤ 参加者全員でカニを賞味

4 平成29年度実施日程

実施日	学校名	実施日	学校名
10月6日(金)	中太閤山小学校	10月25日(水)	大門小学校
10月11日(水)	太閤山小学校	10月27日(金)	新湊小学校 金山小学校
10月13日(金)	小杉小学校 下村小学校	10月31日(火)	堀岡小学校 東明小学校
10月17日(火)	作道小学校 歌の森小学校	11月 1日(水)	放生津小学校 大島小学校
10月20日(金)	片口小学校 塚原小学校		

平成29年度 夏季休業中における教職員研修 実施報告

教育センター

1. 小中連携学力向上研修会(講演会)

- (1) 日 時 7月25日(火) 13時30分～16時30分
- (2) 会 場 射水市立大門小学校 ランチルーム
- (3) 内 容 演題：「道徳の教科化をむかえて
～小中連携で進める道徳教育の在り方～」
- (4) 講師等 金沢工業大学 教授 白木みどり
- (5) 参加者 小中学校教諭等48名(各校の道徳教育推進教師を含む)
- (6) 成果等 道徳が教科化された背景やこれからの道徳が目指すことなどについて、理論的な内容から授業場面を想定した具体的な内容まで、幅の広い話を聞き、来年度から小学校で実施される「特別な教科 道徳」に対して見通しをもつことができた。

2. 射水市内地域巡り研修会

- (1) 日 時 7月28日(金) 8時30分～12時
- (2) 会 場 見学場所：「新湊博物館」「加茂神社」「射水平野土地改良会館」
「陶房・匠の里」「大島絵本館」
- (3) 内 容 射水市内にある施設等の見学を通して地域理解を図るとともに、児童生徒の学習指導及び保護者や地域との交流に役立てる。
- (4) 講師等 各見学場所の担当者
- (5) 参加者 本年度新規採用教諭15名
- (6) 成果等 それぞれの見学場所では、丁寧に説明をしてもらった。教材として生かすことのできる内容もたくさんあり、充実した研修会となった。

3. 小学校若手教員研修会

- (1) 日 時 8月3日(水) 9:00～12:00(国) 13:30～16:30(算)
- (2) 会 場 射水市布目分庁舎別館 研修室
- (3) 内 容 2学期に実践する研究授業に向けて、国語・算数の教材研究及び学習指導案の作成を通して、授業の進め方や指導方法等について学ぶ。
- (4) 講師等 西部教育事務所 指導主事 廣瀬孝子(国)
西部教育事務所 指導主事 高川芳昭(算)
市内指導教員10名(国6名、算4名)
- (5) 参加者 市内2年次以上5年次以下の若手教員31名(国18名、算13名)
- (6) 成果等 西部教育事務所の指導主事から「国語科(算数科)における授業づくり」と題する講話を聞いた後、事前に自分で書いた学習指導案についてグループで話し合ったり、指導教員からアドバイスをもらったりして、2学期に行う研究授業に向けての見通しをもつことができた。

4. 中学校若手教員研修会

- (1) 日 時 8月7日(月) 9:00~12:00(音・保体)
8月8日(火) 9:00~12:00(国・数・英) 13:30~16:30(社・理)
8月18日(金) 9:00~12:00(美)
- (2) 会 場 射水市布目分庁舎別館 研修室(国・社・数・理・英・音・保体)
射水市立小杉中学校(美)
- (3) 内 容 2学期に実践する研究授業に向けて、担当教科の教材研究及び学習指導案の作成を通して、授業の進め方や指導方法等について学ぶ。
- (4) 講師等 市内指導教員16名(国3名、社3名、数2名、理3名、英2名、音1名、美1名、保体1名)
- (5) 参加者 2年次以上5年次以下の若手教員30名(国6名、社6名、数5名、理4名、英4名、音1名、美1名、保体3名)
- (6) 成果等 事前に自分で書いた学習指導案について教科毎のグループで話し合ったり、指導教員からアドバイスをもらったりして、2学期に行う研究授業に向けての見通しをもつことができた。

5. 特別支援教育研修会

- (1) 日 時 8月25日(金) 9:00~12:00
- (2) 会 場 射水市布目分庁舎別館 研修室
- (3) 内 容 一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばすための特別支援教育について学ぶ。
- (4) 講師等 富山県総合教育センター教育相談部 主任教育専門員 近江幸人
射水市特別支援教育マイスター教員 太閤山小学校 教諭 小竹幸代
- (5) 参加者 特別支援学級担任37名(全小中学校特別支援コーディネーターを含む)
- (6) 成果等 障害者差別解消法等法令整備の背景や意義及び教育活動における合理的配慮について理解を深めることができた。また、特別な支援を必要とする児童生徒への接し方やWISC-IVの結果の生かし方について具体的な話を聞くことができた。

新湊博物館空調設備関係工事に伴う臨時休館について

新湊博物館

1 休館期間

平成29年11月27日(月)～平成30年2月28日(水)

〔94日間〕

2 工事スケジュール等

・入札日 平成29年9月20日(水)

・工事名 新湊博物館空調機中央監視装置更新工事

工 期 契約日から平成30年2月7日まで

契約金額 77,220,000円(税含む)

施工業者 鳥羽システム株式会社

富山市窪本町1番15号

・工事名 新湊博物館収蔵庫パッケージエアコン更新工事

工 期 契約日から平成30年1月10日まで

契約金額 10,476,000円(税含む)

施工業者 杉田住設

射水市桜町18-14

3 休館前後の企画展

・「射水百景」展 平成29年9月15日(金)～11月26日(日)

・「館蔵品」展 平成30年3月 1日(木)～※4月15日(日)

※会期末は予定

平成 29 年 10 月の主な行事予定

日	曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
1	日		右記小学校	学習発表会(太閤山、中太閤山小学校)	学校教育課	
		15:00	旧新湊庁舎前曳山観覧会場	新湊曳山まつり	生涯学習・スポーツ課	教育長
2	月		各事業所	社会に学ぶ「14歳の挑戦」(新湊、新湊南部、射北中学校) ~6日	学校教育課	
3	火					
4	水					
5	木					
6	金	19:30	本庁舎会議室401	第1回新成人代表者会議	生涯学習・スポーツ課	
7	土					
8	日					
9	月		右記小学校	学習発表会(下村小学校)	学校教育課	
10	火					
11	水					
12	木					
13	金					
14	土		右記小学校	学習発表会(大島小学校)	学校教育課	
15	日		右記小学校	学習発表会(放生津、新湊、作道、片口、堀岡、東明、塚原、大門小学校)	学校教育課	
		9:30	新湊博物館	呈茶会	新湊博物館	
		10:00	下村コミュニティセンター	ふれあい里祭り(文化祭)	生涯学習・スポーツ課	
16	月					
17	火	10:00	中央公民館第3研修室	放課後子ども教室教育活動推進員等研修会	生涯学習・スポーツ課	
18	水					
19	木					
20	金					
21	土					
22	日		右記小学校	学習発表会(小杉、金山小学校)	学校教育課	
			右記中学校	文化活動発表会(新湊南部、射北中学校、大門中学校)	学校教育課	
		9:00	金山コミュニティセンター	第7回金山文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		9:30	中央図書館 2階会議室	本のリサイクル市	中央図書館	
		9:30	榊田コミュニティセンター	第31回榊田の里まつり(文化祭)	生涯学習・スポーツ課	
		10:00	浅井コミュニティセンター	浅井文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		13:30	新湊博物館 ガイドスルーム	記念講演会「新湊の今昔」	新湊博物館	
23	月					
24	火					
25	水	13:30	砺波市文化会館	平成29年度富山県市町村教育委員会連合会第2回研修会	学校教育課	○
26	木					
28	土		右記中学校	学習発表会(新湊中学校)	学校教育課	
			右記中学校	文化活動発表会(小杉、小杉南中学校)	学校教育課	
29	日	8:30	高岡市～射水市～富山市間	富山マラソン2017	生涯学習・スポーツ課	教育長
		9:30	三ヶコミュニティセンター	第9回三ヶ地域文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		9:30	池多コミュニティセンター	第32回池多地区文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		10:00	水戸田コミュニティセンター	水戸田地域文化まつり	生涯学習・スポーツ課	
		13:00	東京都内	いみず鳳雛きらめき塾	学校教育課	

日	曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
30	月	7:00	東京都内	いみず鳳雛きらめき塾	学校教育課	
31	火					

展示等

自	至	場 所	展 示 名	自	至	場 所	展 示 名
9/15	11/26	新湊博物館	射水百景				
10/27	11/9	中央図書館	「こんな賞あんな賞に輝いた作品」展				



平成 29 年 11 月の主な行事予定

日	曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
1	水					
2	木					
3	金	9:00	七美コミュニティセンター	ふるさと祭り	生涯学習・スポーツ課	
		9:00	塚原コミュニティセンター	塚原文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		9:00	大江コミュニティセンター	第39回大江地区文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		9:00	黒河コミュニティセンター	第34回黒河ふれあい祭り	生涯学習・スポーツ課	
		9:00	大島コミュニティセンター	第5回大島コミュニティセンターまつり	生涯学習・スポーツ課	
		9:30	放生津コミュニティセンター	放生津コミュニティセンター文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		10:00	作道コミュニティセンター	第7回作道校下住民文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		10:00	片口コミュニティセンター	ふれあい文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		10:00	海老江コミュニティセンター	海老江コミュニティ文化まつり	生涯学習・スポーツ課	
		10:00	本江コミュニティセンター	第7回本江ふるさとまつり	生涯学習・スポーツ課	
		10:00	南太閤山コミュニティセンター	第34回南太閤山文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		11:00	中央図書館 2階会議室	秋のこどもフェスタ(人形劇)	中央図書館	
4	土		アルビス小杉総合体育センター	第8回スポーツひのまるキッズ北信越小学生柔道大会	生涯学習・スポーツ課	
			アルビス小杉総合体育センター	第9回スポーツひのまるキッズ北信越小学生柔道大会	生涯学習・スポーツ課	
5	日	9:00	戸破コミュニティセンター	第30回ひばり文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		9:00	橋下条コミュニティセンター	橋下条文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		9:00	太閤山コミュニティセンター	太閤山文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		9:00	大門コミュニティセンター	大門文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		9:30	庄西コミュニティセンター	ふれあい文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		10:00	新湊コミュニティセンター	第7回新湊センターまつり	生涯学習・スポーツ課	
		10:00	中太閤山コミュニティセンター	第34回中太閤山文化祭	生涯学習・スポーツ課	
6	月					
7	火					
8	水					
9	木		茨城県つくば市	全国スポーツ推進委員研究協議会	生涯学習・スポーツ課	
10	金		茨城県つくば市	全国スポーツ推進委員研究協議会	生涯学習・スポーツ課	
11	土	10:30	uchikawa六角堂	いみず鳳雛きらめき塾	学校教育課	
		11:00	大島社会福祉センター	富山県駅伝競走大会射水市結団式	生涯学習・スポーツ課	
12	日			富山県駅伝競走大会	生涯学習・スポーツ課	
		9:30	堀岡コミュニティセンター	堀岡なでしこ祭(文化祭)	生涯学習・スポーツ課	
		9:30	二口コミュニティセンター	第7回ふたくち文化祭	生涯学習・スポーツ課	
		13:30	新湊博物館 ガイドンスルーム	記念講演会「郷土資料としての写真 ―心に刻んだ記憶の再現―」	新湊博物館	
13	月					
14	火					
15	水					
16	木					
17	金					
18	土					
19	日		右記小学校	学習発表会(歌の森小学校)	学校教育課	
20	月					
21	火					
22	水	10:00	七美コミュニティセンター	七美地区じいちゃんばあちゃんの孫育て談義	生涯学習・スポーツ課	

日	曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
23	木					
24	金	10:00	池多コミュニティセンター	池多地区じいちゃんばあちゃんの孫育て談義	生涯学習・スポーツ課	
25	土					
26	日					
27	月					
28	火					
29	水	10:00	浅井コミュニティセンター	浅井地区じいちゃんばあちゃんの孫育て談義	生涯学習・スポーツ課	
30	木					

展示等

自	至	場所	展示名	自	至	場所	展示名
9/15	11/26	新湊博物館	射水百景				
10/27	11/9	中央図書館	「こんな賞あんな賞に輝いた作品」展				

